

久万高原町  
地方創生に関するアンケート  
集計結果報告書

平成 27 年 11 月  
愛媛県久万高原町

# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 留意点.....	1
<b>II アンケート調査結果</b> .....	<b>2</b>
1 回答者の属性について.....	2
2 町のイメージについて.....	5
3 地域の活動への参加について.....	9
4 各施策への満足度について.....	11
5 お住まいについて.....	14
6 今後のお住まいについて.....	25
7 働くことについて.....	28
8 結婚について.....	36
9 出産・育児について.....	41
<b>III 本調査及び結果の妥当性について</b> .....	<b>52</b>
1 標本誤差.....	52
2 回答者と母集団の属性比較.....	52

# I 調査概要

## 1 調査目的

---

平成 27 年度から平成 31 年度を計画期間とする「総合戦略」の策定にあたり、本町にお住いの住民の皆様の現状やご要望を把握するために、アンケート調査を実施しました。

## 2 調査方法

---

平成 27 年 6～7 月を調査期間としており、対象、配布・回収方法、回収率は以下のとおりです。

アンケート種類	配布数	配布・回収方法	回収数 (有効回収数)	回収率
全住民から無作為抽出	2,000 票	郵送による配布回収	607 票	30.4%

## 3 留意点

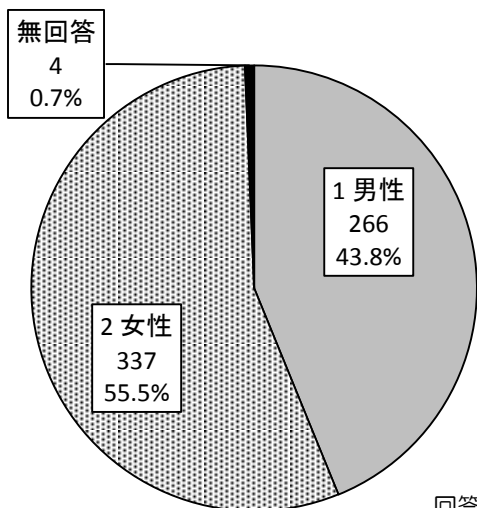
---

- ①設問のなかには前問に答えた人のみが回答する「限定設問」があり、その設問においては表中の回答者数が全体より少なくなっています。
- ②設問には 1 つのみ答える単数回答 (SA: シングルアンサー) と、複数回答 (MA: マルチアンサー) があります。MA の集計においては、回答者がその選択肢を選択した割合を算出しています。
- ③割合は選択肢ごとに小数第二位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が 100% にならないものがあります。
- ④その他意見については、代表的なものをまとめています。

## Ⅱ アンケート調査結果

### 1 回答者の属性について

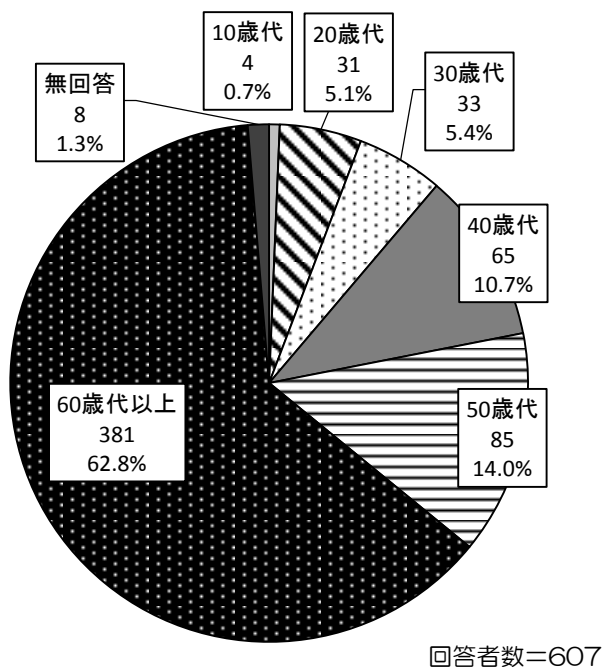
問1 あなたは男性ですか女性ですか。(SA)



回答者は女性 55.5%、男性 43.8%と女性の比率が高くなっています。

	人数	割合
1 男性	266	43.8%
2 女性	337	55.5%
無回答	4	0.7%
合計	607	100.0%

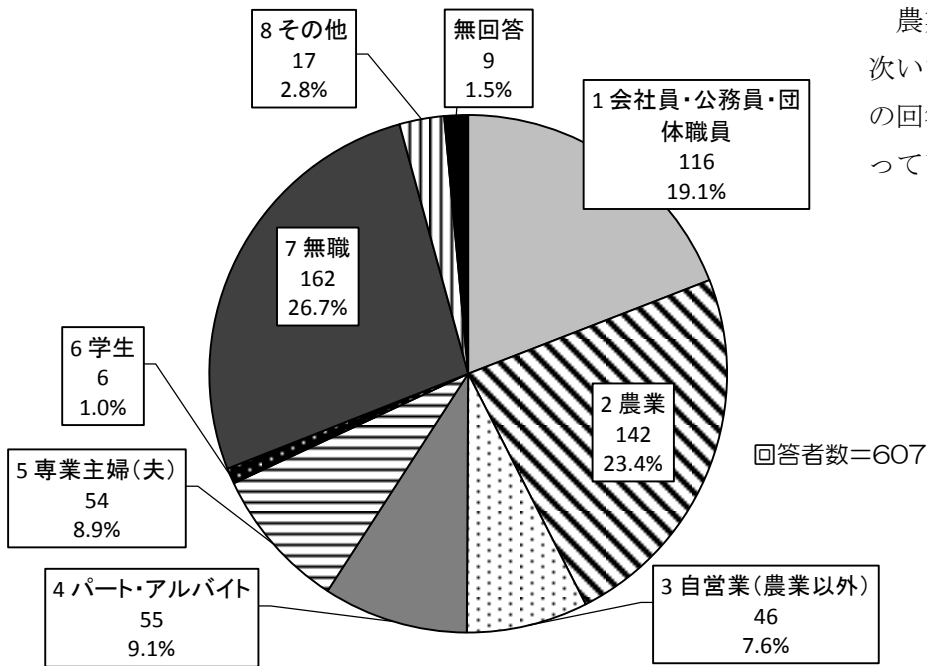
問2 あなたは現在何歳ですか。(SA)



60歳以上の回答者の割合(62.8%)が多くを占め、次いで、50歳代の回答者の割合(14.0%)が高くなっています。

	人数	割合
10歳代	4	0.7%
20歳代	31	5.1%
30歳代	33	5.4%
40歳代	65	10.7%
50歳代	85	14.0%
60歳代以上	381	62.8%
無回答	8	1.3%
合計	607	100.0%

問3 あなたの現在の仕事の状況は、以下のどれにあてはまりますか。(SA)



農業の割合(23.4%)が最も高く、次いで、会社員・公務員・団体職員の回答者の割合(19.1%)が高くなっています。

	人数	割合
1 会社員・公務員・団体職員	116	19.1%
2 農業	142	23.4%
3 自営業(農業以外)	46	7.6%
4 パート・アルバイト	55	9.1%
5 専業主婦(夫)	54	8.9%
6 学生	6	1.0%
7 無職	162	26.7%
8 その他	17	2.8%
無回答	9	1.5%
合計	607	100.0%

## 【年代別】

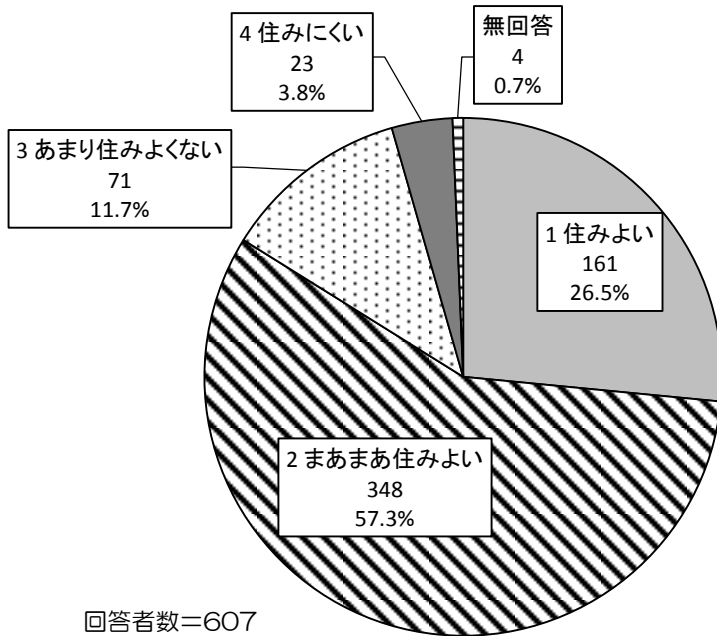
前頁の結果を、60歳未満と60歳以上で比較すると、60歳未満においては会社員・公務員・団体職員の割合（46.8%）が最も高く、60歳以上においては無職の割合（38.3%）が最も高く、次いで農業の割合（33.1%）が高くなっています。

	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 会社員・公務員・団体職員	102	46.8%	14	3.7%
2 農業	15	6.9%	126	33.1%
3 自営業（農業以外）	19	8.7%	27	7.1%
4 パート・アルバイト	36	16.5%	19	5.0%
5 専業主婦（夫）	20	9.2%	34	8.9%
6 学生	6	2.8%	0	0.0%
7 無職	14	6.4%	146	38.3%
8 その他	5	2.3%	12	3.1%
無回答	1	0.5%	3	0.8%
合計	218	100.0%	381	100.0%

※年齢無回答者は除外している。

## 2 町のイメージについて

問4 あなたは、久万高原町を「住みよい」と感じていますか。(SA)



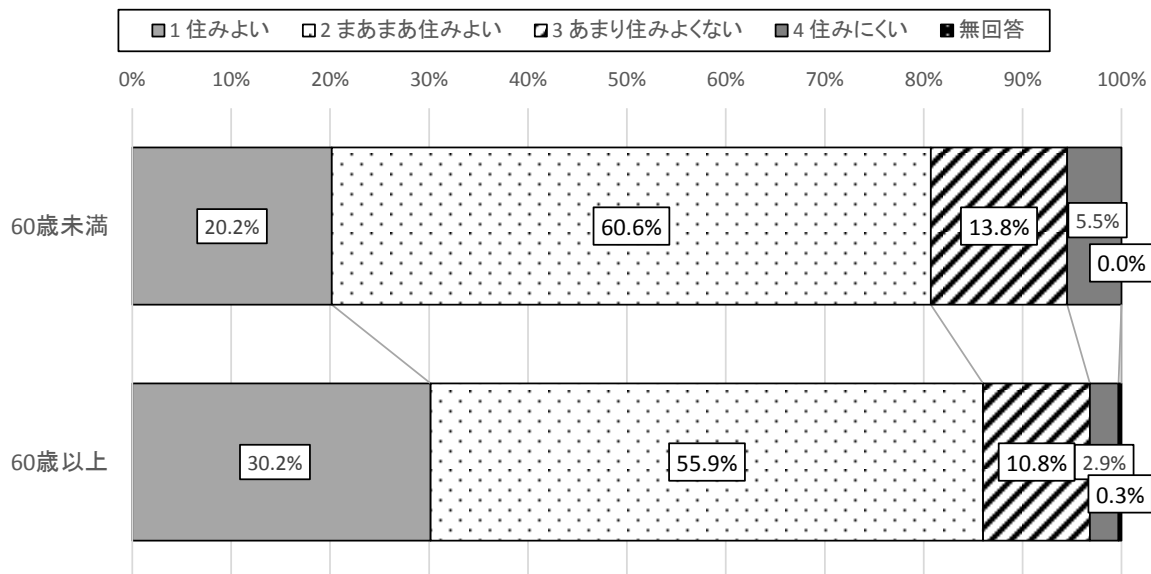
「まあまあ住みよい」と回答した方の割合(57.3%)が最も高くなっています。

また、「住みよい」「まあまあ住みよい」を回答した方の合計は、約8割(83.8%)となっています。

	人数	割合
1 住みよい	161	26.5%
2 まあまあ住みよい	348	57.3%
3 あまり住みよくない	71	11.7%
4 住みにくい	23	3.8%
無回答	4	0.7%
合計	607	100.0%

### 【年代別】

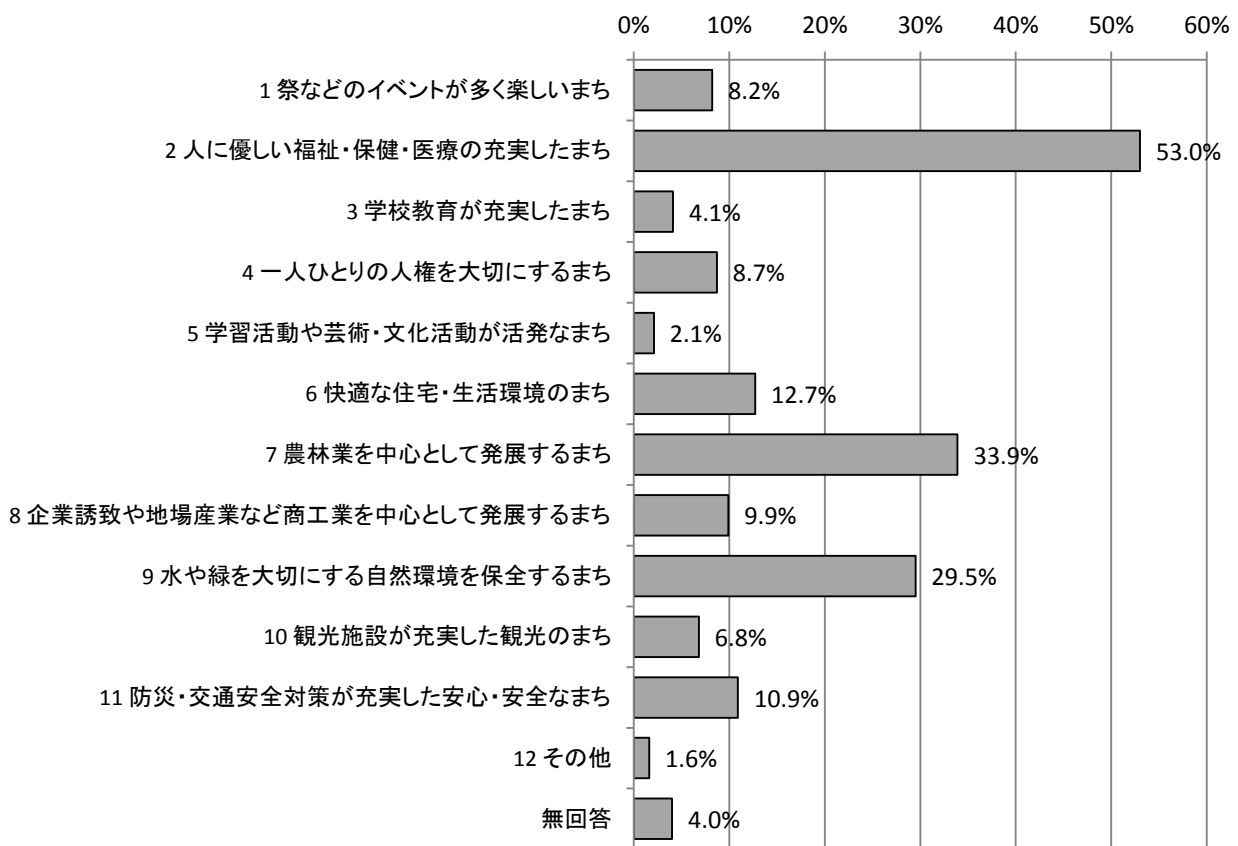
上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較すると、60歳以上において、「住みよい」「まあまあ住みよい」が多く回答されています。



	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 住みよい	44	20.2%	115	30.2%
2 まあまあ住みよい	132	60.6%	213	55.9%
3 あまり住みよくない	30	13.8%	41	10.8%
4 住みにくい	12	5.5%	11	2.9%
無回答	0	0.0%	1	0.3%
合計	218	100.0%	381	100.0%

問5 あなたは、久万高原町をどういう特色のあるまちにすべきだと思いますか。(MA:2つまで)

「人に優しい福祉・保健・医療の充実したまち」と回答した方の割合（53.0%）が最も高く、次いで「農林業を中心として発展するまち」（33.9%）、「水や緑を大切に自然環境を保全するまち」（29.5%）と回答した方の割合が高くなっています。



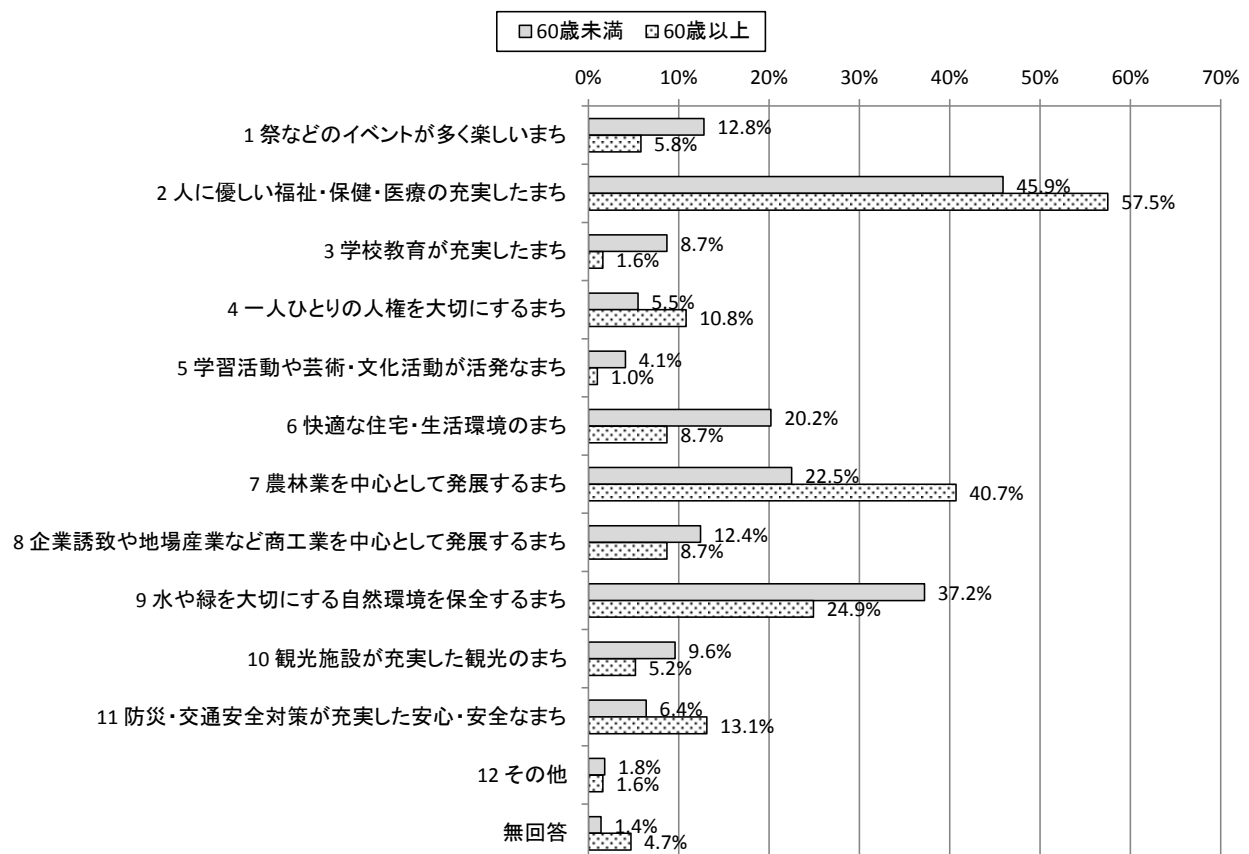
回答者数=607



	人数	割合
1 祭などのイベントが多く楽しいまち	50	8.2%
2 人に優しい福祉・保健・医療の充実したまち	322	53.0%
3 学校教育が充実したまち	25	4.1%
4 一人ひとりの人権を大切にするまち	53	8.7%
5 学習活動や芸術・文化活動が活発なまち	13	2.1%
6 快適な住宅・生活環境のまち	77	12.7%
7 農林業を中心として発展するまち	206	33.9%
8 企業誘致や地場産業など商工業を中心として発展するまち	60	9.9%
9 水や緑を大切にする自然環境を保全するまち	179	29.5%
10 観光施設が充実した観光のまち	41	6.8%
11 防災・交通安全対策が充実した安心・安全なまち	66	10.9%
12 その他	10	1.6%
無回答	24	4.0%
回答者数	607	100.0%

### 【年代別】

上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較をすると、60歳未満においては自然環境や住環境の充実を回答した割合が高く、60歳以上においては福祉・保健・医療や農林業の充実を回答した割合が高くなっています。



	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 祭などのイベントが多く楽しいまち	28	12.8%	22	5.8%
2 人に優しい福祉・保健・医療の充実したまち	100	45.9%	219	57.5%
3 学校教育が充実したまち	19	8.7%	6	1.6%
4 一人ひとりの人権を大切にするまち	12	5.5%	41	10.8%
5 学習活動や芸術・文化活動が活発なまち	9	4.1%	4	1.0%
6 快適な住宅・生活環境のまち	44	20.2%	33	8.7%
7 農林業を中心として発展するまち	49	22.5%	155	40.7%
8 企業誘致や地場産業など商工業を中心として発展するまち	27	12.4%	33	8.7%
9 水や緑を大切にする自然環境を保全するまち	81	37.2%	95	24.9%
10 観光施設が充実した観光のまち	21	9.6%	20	5.2%
11 防災・交通安全対策が充実した安心・安全なまち	14	6.4%	50	13.1%
12 その他	4	1.8%	6	1.6%
無回答	3	1.4%	18	4.7%
合計	218	100.0%	381	100.0%

#### その他の主なもの

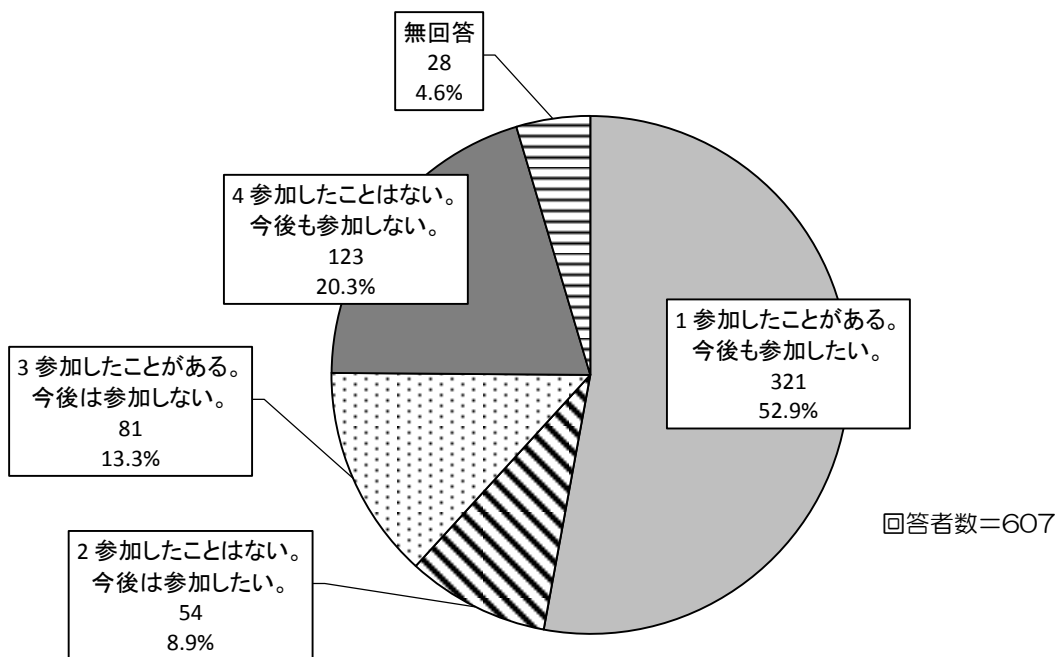
(複数あったもの)・若者がとどまるまち

(単数のもの)・国の補助金に頼らない自立した独創性あるまち

### 3 地域の活動への参加について

問6 あなたは、お祭りやイベントや町が行う事業などの町の活性化につながる活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。(SA)

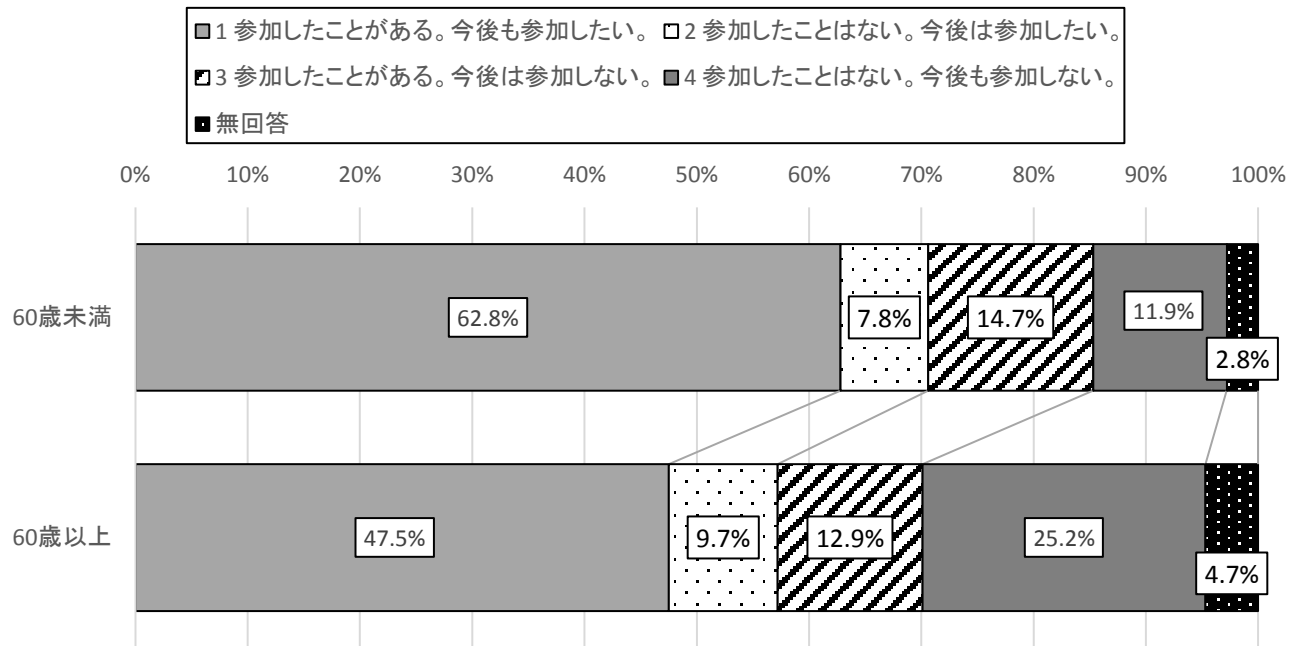
「参加したことがある。今後も参加したい」と回答した方の割合(52.9%)が最も高く、半数以上の方が今後も参加の意向を示しています。



	人数	割合
1 参加したことがある。 今後も参加したい。	321	52.9%
2 参加したことはない。 今後は参加したい。	54	8.9%
3 参加したことがある。 今後は参加しない。	81	13.3%
4 参加したことはない。 今後も参加しない。	123	20.3%
無回答	28	4.6%
合計	607	100.0%

## 【年代別】

上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較をすると、60歳未満のほうが地域活動への参加意向が高くなっています。



	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 参加したことがある。今後も参加したい。	137	62.8%	181	47.5%
2 参加したことはない。今後は参加したい。	17	7.8%	37	9.7%
3 参加したことがある。今後は参加しない。	32	14.7%	49	12.9%
4 参加したことはない。今後も参加しない。	26	11.9%	96	25.2%
無回答	6	2.8%	18	4.7%
合計	218	100.0%	381	100.0%

## 4 各施策への満足度について

問7 町の現状についてどのように感じていますか。(SA)

結果については以下の通りです。

全施策への評価一覧（「満足」、「やや満足」の和が多い順）

	施策	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
①	上水道（安全で良質な水道水等）	40.9%	43.0%	7.9%	3.5%	4.8%
	交通安全（交通安全対策等）	22.4%	60.1%	10.0%	2.6%	4.8%
	防犯（犯罪の防止等）	21.1%	58.6%	12.5%	1.8%	5.9%
	防災・消防・救急（風水害等への備え等）	21.6%	58.0%	13.3%	2.8%	4.3%
	健康づくり（生活習慣病予防等）	17.6%	58.6%	14.5%	1.3%	7.9%
	ごみ・し尿（ごみ減量、不法投棄防止等）	27.3%	47.9%	17.8%	3.3%	3.6%
	学校給食（学校給食、地産地消等）	18.9%	53.2%	5.3%	1.6%	20.9%
	地域環境（自然保護、公害防止等）	14.5%	57.2%	17.6%	3.0%	7.7%
	学校教育（学校施設、学校の教育環境等）	17.8%	53.5%	9.2%	2.5%	17.0%
	下水道（排水による水質汚濁の改善等）	26.2%	45.0%	17.8%	6.6%	4.4%
	文化活動（地域郷土芸能の保全等）	14.2%	56.0%	13.7%	0.7%	15.5%
	人権教育（道徳教育、いじめ防止等）	14.3%	53.7%	13.2%	2.8%	16.0%
	地域教育（公民館）	13.7%	54.2%	15.2%	2.1%	14.8%
	地域医療（医療情報、救急医療体制等）	17.0%	50.4%	19.9%	5.3%	7.4%
	文化財保護（指定文化財の保護等）	13.8%	53.5%	15.5%	0.8%	16.3%
	道路（道路環境等）	17.5%	48.9%	22.2%	6.9%	4.4%
	河川（治水、河川環境等）	14.2%	51.9%	21.4%	6.8%	5.8%
	スポーツ・レクリエーション	14.0%	51.2%	18.1%	2.8%	13.8%
	高齢者支援（介護予防支援等）	13.5%	50.4%	23.4%	5.9%	6.8%
	家庭教育（校外学習の環境等）	11.2%	49.8%	17.5%	0.8%	20.8%
	情報通信（電話、インターネット環境等）	14.2%	45.8%	21.9%	9.9%	8.2%
	子育て支援（保育園等）	9.9%	49.4%	16.5%	3.6%	20.6%
	ボランティア・NPO	9.6%	48.8%	19.6%	4.1%	18.0%
	コミュニティ（町内会・自治会活動等）	10.0%	47.8%	23.2%	5.4%	13.5%
	介護保険制度（介護保険料等）	11.4%	46.3%	28.0%	7.1%	7.2%
	国民健康保険（国民健康保険税等）	10.5%	47.1%	26.4%	7.4%	8.6%
商工観光（商店街活動支援等）	8.6%	48.9%	22.6%	6.3%	13.7%	
障害支援（バリアフリー等）	8.6%	47.1%	26.2%	4.1%	14.0%	

	施策	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	町営住宅（町営住宅の安全性等）	10.4%	44.0%	17.8%	5.3%	22.6%
	広域行政（他市町村との連携等）	7.4%	46.6%	21.9%	5.1%	18.9%
	男女共同参画（DV対策等）	7.6%	45.6%	23.9%	3.6%	19.3%
	農業基盤整備（農地のほ場整備等）	8.9%	43.8%	26.7%	5.6%	15.0%
	低所得者支援（生活保護、就労支援等）	8.4%	40.7%	30.3%	7.7%	12.9%
	行政運営（町の人事、職員の資質向上等）	9.2%	39.7%	27.2%	9.6%	14.3%
	林業（林業活性化、森林整備等）	7.4%	40.9%	29.2%	9.7%	12.9%
	財政運営（経費削減、歳入の確保等）	6.4%	39.5%	27.0%	9.6%	17.5%
	農業振興（後継者育成等）	5.4%	40.0%	32.3%	8.4%	13.8%
②	公共交通（バスの利便性等）	6.8%	26.0%	36.4%	26.0%	4.8%

① 「満足」「やや満足」計が 50.0%を上回った施策（38 施策中 32 施策）

「上水道（安全で良質な水道水等）」「交通安全（交通安全対策等）」「防犯（犯罪の防止等）」の順に高い満足度になっており、生活環境や安全・安心なまちづくり施策に対して特に肯定的な評価がされています。

② 「やや不満」「不満」計が 50.0%を上回った施策（38 施策中 1 施策）

唯一「公共交通（バスの利便性）」については不満が半数を超えています。

問8 問7の項目のうち、今後、町が優先的に取りかかるべきと思うものは、どれですか。

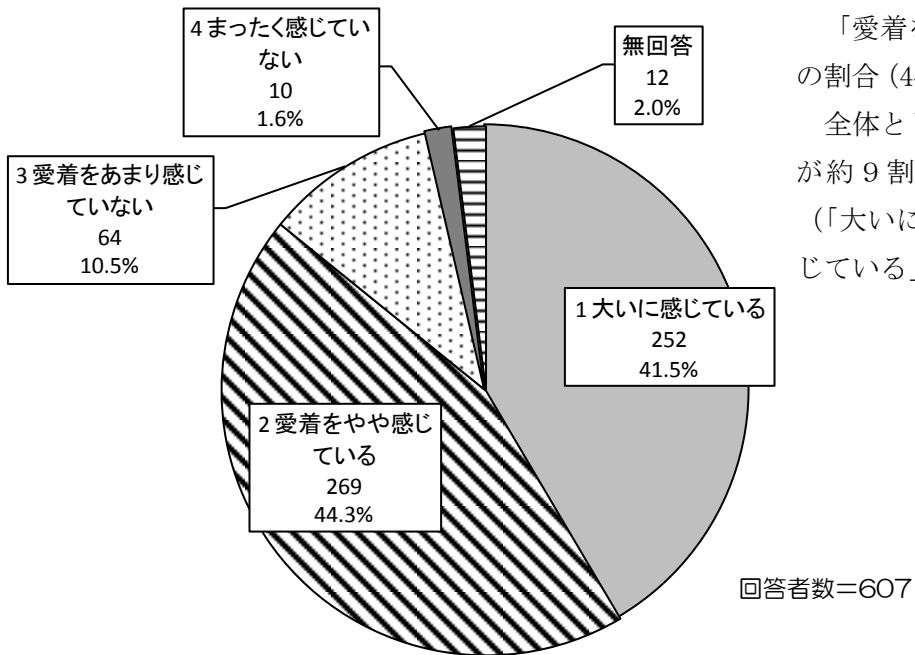
(MA:3つまで)

60歳未満においては「財政運営」「行政運営」と回答する方が多く、60歳以上においては「高齢者支援」「林業」を回答する方が多く見られました。

	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 地域環境	9	4.1%	16	4.2%
2 道路	17	7.8%	25	6.6%
3 河川	5	2.3%	23	6.0%
4 公共交通	34	15.6%	43	11.3%
5 情報通信	22	10.1%	3	0.8%
6 防災・消防・救急	23	10.6%	17	4.5%
7 交通安全	2	0.9%	0	0.0%
8 防犯	4	1.8%	4	1.0%
9 上水道	2	0.9%	4	1.0%
10 下水道	2	0.9%	10	2.6%
11 ごみ・し尿	8	3.7%	17	4.5%
12 町営住宅	17	7.8%	8	2.1%
13 農業振興	43	19.7%	71	18.6%
14 農業基盤整備	4	1.8%	17	4.5%
15 林業	34	15.6%	80	21.0%
16 商工観光	30	13.8%	21	5.5%
17 高齢者支援	36	16.5%	86	22.6%
18 障害支援	11	5.0%	8	2.1%
19 子育て支援	22	10.1%	18	4.7%
20 健康づくり	8	3.7%	14	3.7%
21 地域医療	37	17.0%	35	9.2%
22 介護保険制度	18	8.3%	55	14.4%
23 低所得者支援	8	3.7%	27	7.1%
24 国民健康保険	4	1.8%	16	4.2%
25 ボランティア・NPO	1	0.5%	3	0.8%
26 学校教育	25	11.5%	6	1.6%
27 学校給食	6	2.8%	2	0.5%
28 家庭教育	3	1.4%	4	1.0%
29 地域教育(公民館)	7	3.2%	3	0.8%
30 スポーツ・レクリエーション	7	3.2%	4	1.0%
31 文化活動	2	0.9%	1	0.3%
32 文化財保護	2	0.9%	3	0.8%
33 人権教育	8	3.7%	7	1.8%
34 行政運営	44	20.2%	47	12.3%
35 財政運営	54	24.8%	46	12.1%
36 広域行政	16	7.3%	16	4.2%
37 コミュニティ	22	10.1%	18	4.7%
38 男女共同参画	1	0.5%	4	1.0%
無回答	15	6.9%	106	27.8%
合計	218	100.0%	381	100.0%

## 5 お住まいについて

問9 あなたは、久万高原町に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。(SA)

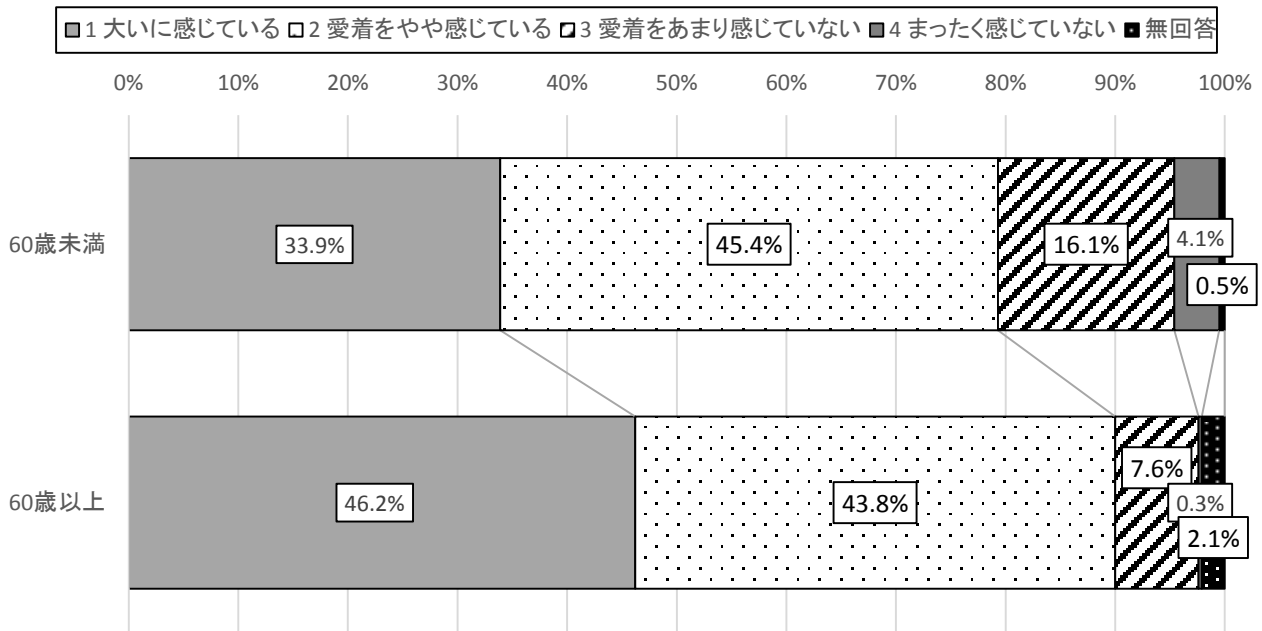


	人数	割合
1 大いに感じている	252	41.5%
2 愛着をやや感じている	269	44.3%
3 愛着をあまり感じていない	64	10.5%
4 まったく感じていない	10	1.6%
無回答	12	2.0%
合計	607	100.0%



## 【年代別】

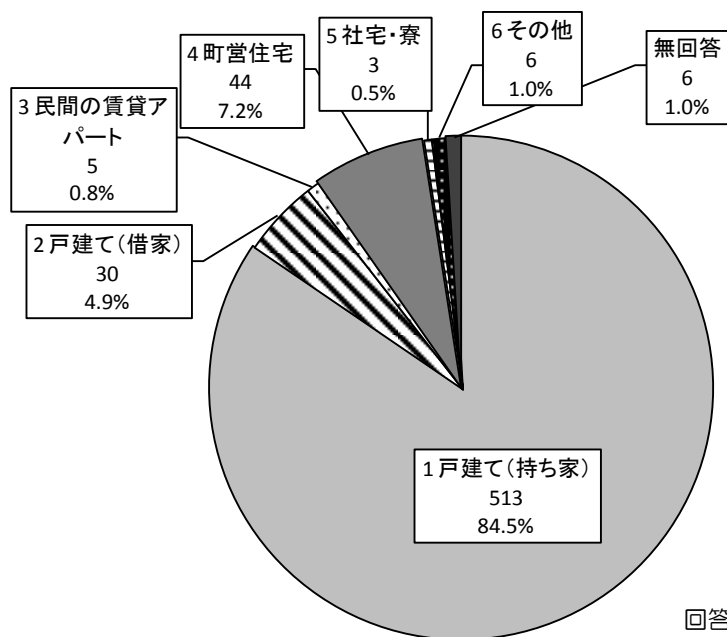
上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較をすると、60歳以上のほうが「大いに感じている」「愛着をやや感じている」を回答する割合が高くなっています。



回答者数=598  
※年齢無回答者を除外

	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 大いに感じている	74	33.9%	176	46.2%
2 愛着をやや感じている	99	45.4%	167	43.8%
3 愛着をあまり感じていない	35	16.1%	29	7.6%
4 まったく感じていない	9	4.1%	1	0.3%
無回答	1	0.5%	8	2.1%
合計	218	100.0%	381	100.0%

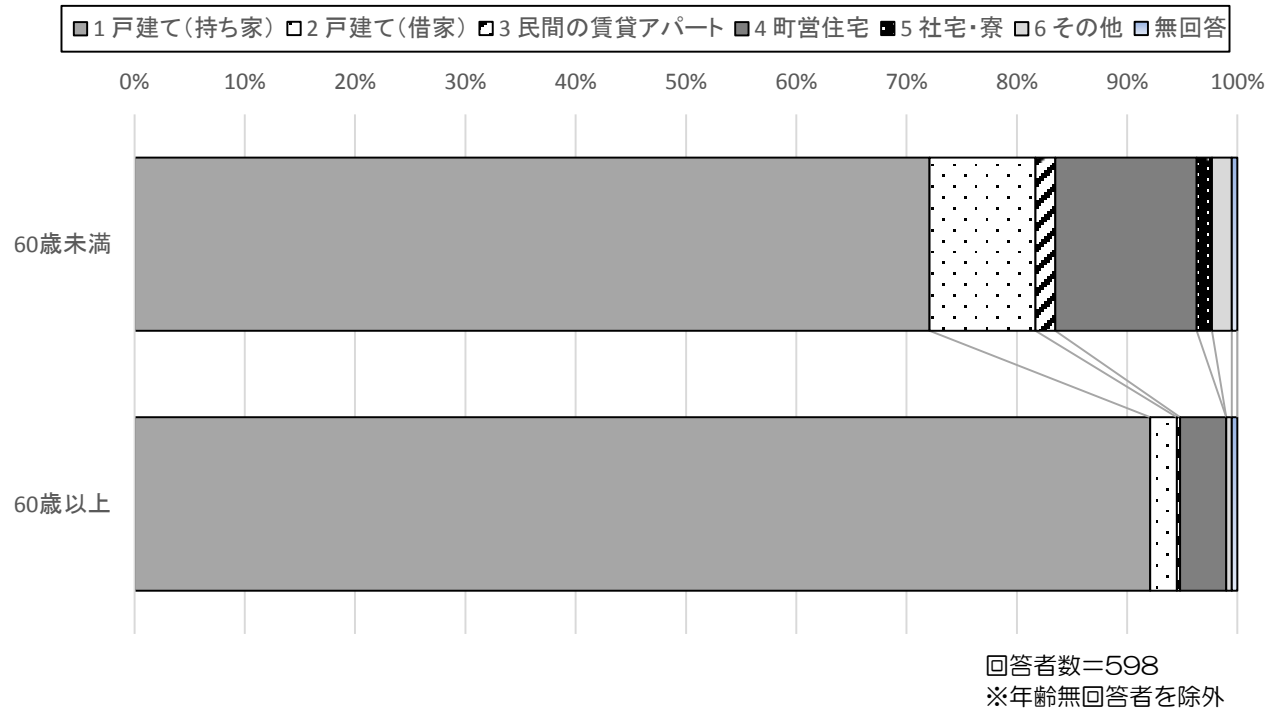
問10 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(SA)



	人数	割合
1 戸建て(持ち家)	513	84.5%
2 戸建て(借家)	30	4.9%
3 民間の賃貸アパート	5	0.8%
4 町営住宅	44	7.2%
5 社宅・寮	3	0.5%
6 その他	6	1.0%
無回答	6	1.0%
合計	607	100.0%

## 【年代別】

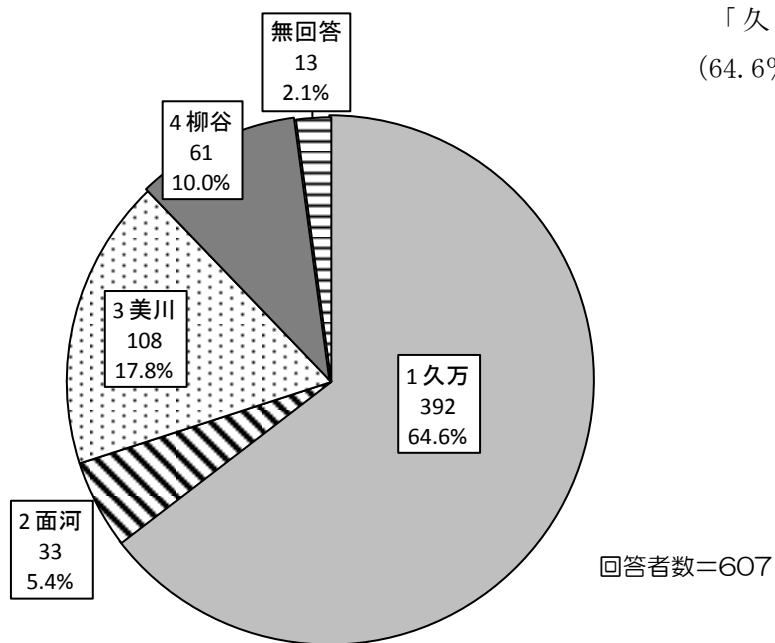
上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較をすると、60歳未満において賃貸物件に住む割合が高くなっています。



	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 戸建て(持ち家)	157	72.0%	351	92.1%
2 戸建て(借家)	21	9.6%	9	2.4%
3 民間の賃貸アパート	4	1.8%	1	0.3%
4 町営住宅	28	12.8%	16	4.2%
5 社宅・寮	3	1.4%	0	0.0%
6 その他	4	1.8%	2	0.5%
無回答	1	0.5%	2	0.5%
合計	218	100.0%	381	100.0%

問11 あなたのお住まいは、どの地区に該当しますか。(SA)

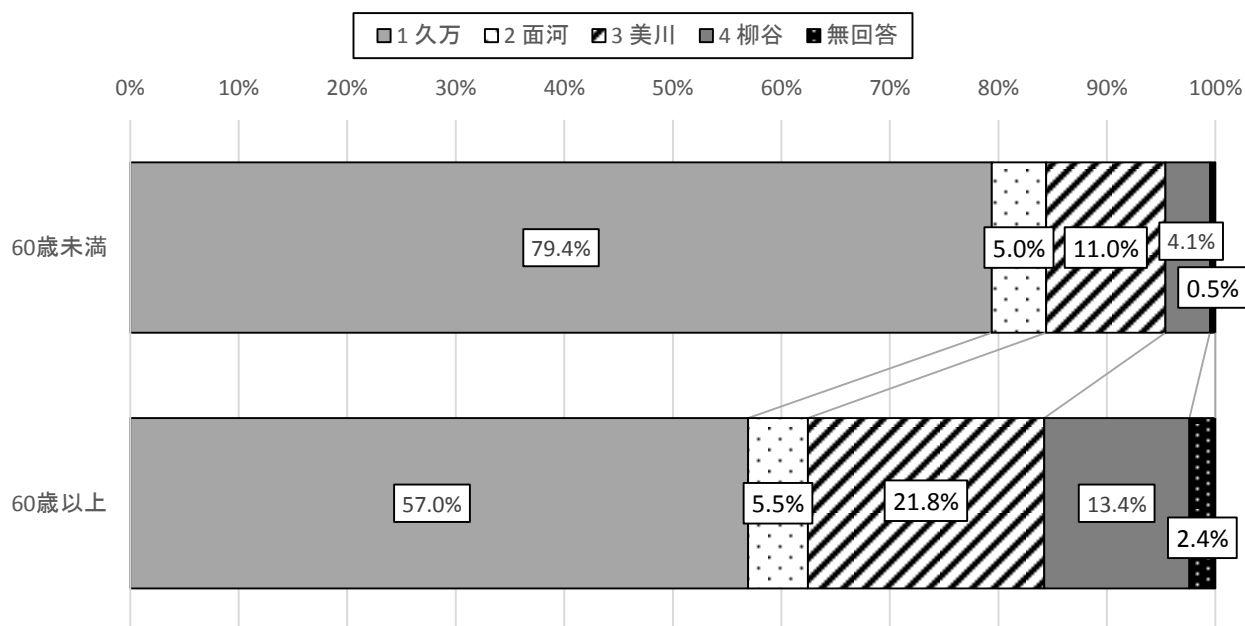
「久万」地区と回答した方の割合  
(64.6%) が最も高くなっています。



	人数	割合
1 久万	392	64.6%
2 面河	33	5.4%
3 美川	108	17.8%
4 柳谷	61	10.0%
無回答	13	2.1%
合計	607	100.0%

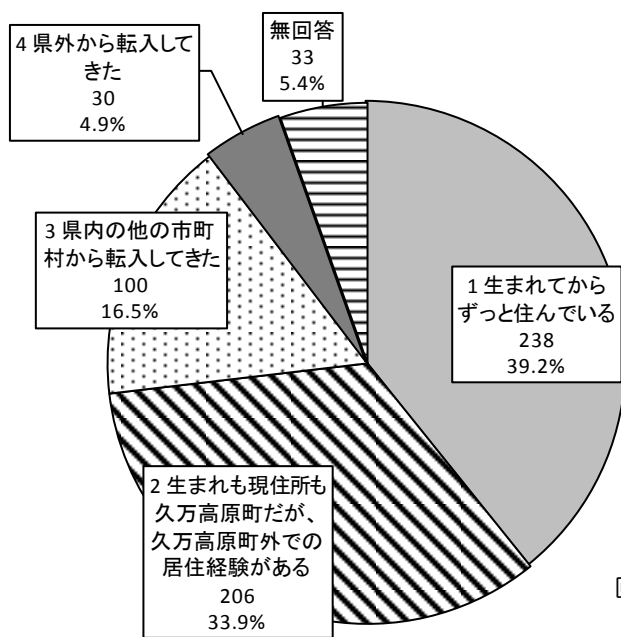
## 【年代別】

上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較をすると、60歳未満において「久万」地区に住んでいる割合が高いことがわかります。



	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 久万	173	79.4%	217	57.0%
2 面河	11	5.0%	21	5.5%
3 美川	24	11.0%	83	21.8%
4 柳谷	9	4.1%	51	13.4%
無回答	1	0.5%	9	2.4%
合計	218	100.0%	381	100.0%

問12 あなたの町内の居住歴について、次のうちどれがあてはまりますか。(SA)



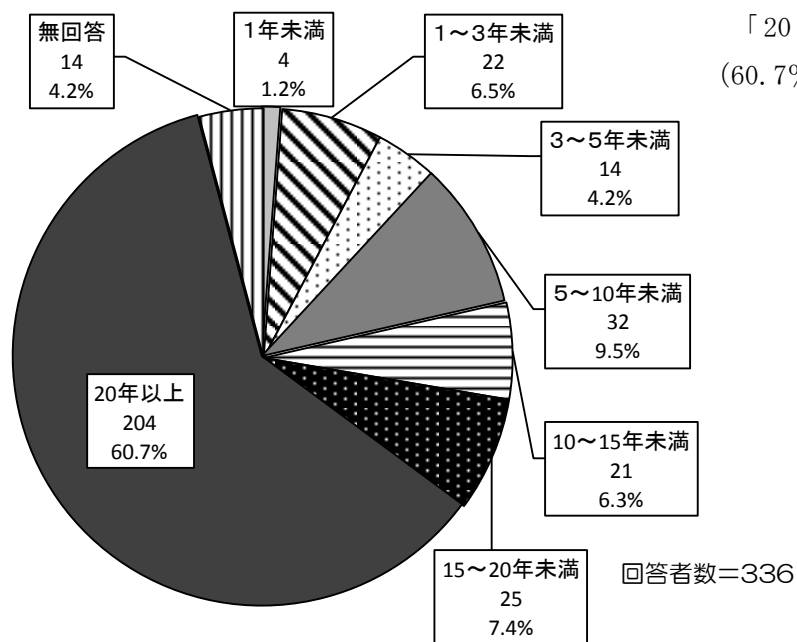
「生まれてからずっと住んでいる」と回答した方の割合（39.2%）と最も高くなっています。

回答者数=607

	人数	割合
1 生まれてからずっと住んでいる	238	39.2%
2 生まれも現住所も久万高原町だが、久万高原町外での居住経験がある	206	33.9%
3 県内の他の市町村から転入してきた	100	16.5%
4 県外から転入してきた	30	4.9%
無回答	33	5.4%
合計	607	100.0%

問13 あなたは、現在の住所に住み始めてから、通算して何年になりますか。(SA)

回答対象：問12で「2 生まれも住所もだが、以外での居住経験がある」～「4 県外から転入してきた」を選択した方



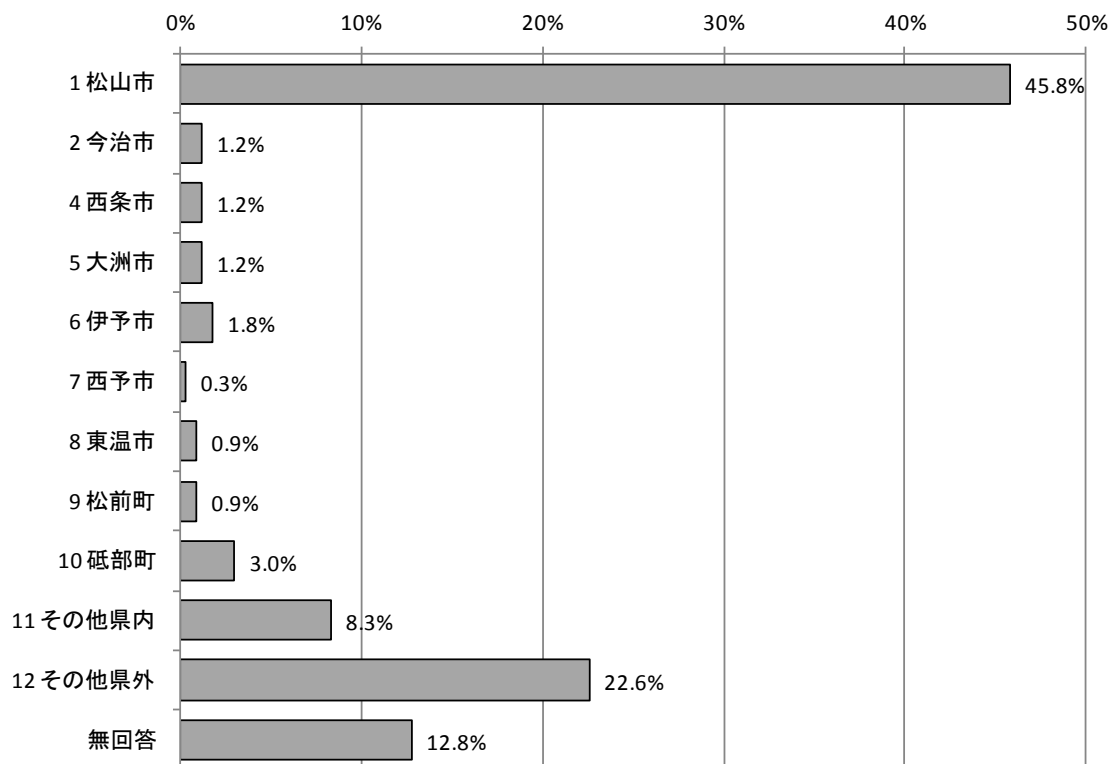
「20年以上」と回答した方の割合(60.7%)が最も高くなっています。

	人数	割合
1年未満	4	1.2%
1～3年未満	22	6.5%
3～5年未満	14	4.2%
5～10年未満	32	9.5%
10～15年未満	21	6.3%
15～20年未満	25	7.4%
20年以上	204	60.7%
無回答	14	4.2%
合計	336	100.0%

問13-1 あなたは、現在の住所に来られる直前に、どちらにお住まいでしたか。(SA)

回答対象：問12で「2 生まれも住所もだが、以外での居住経験がある」～「4 県外から転入してきた」を選択した方

「松山市」と回答された方の割合が回答者の約5割を占めています。



回答者数=336

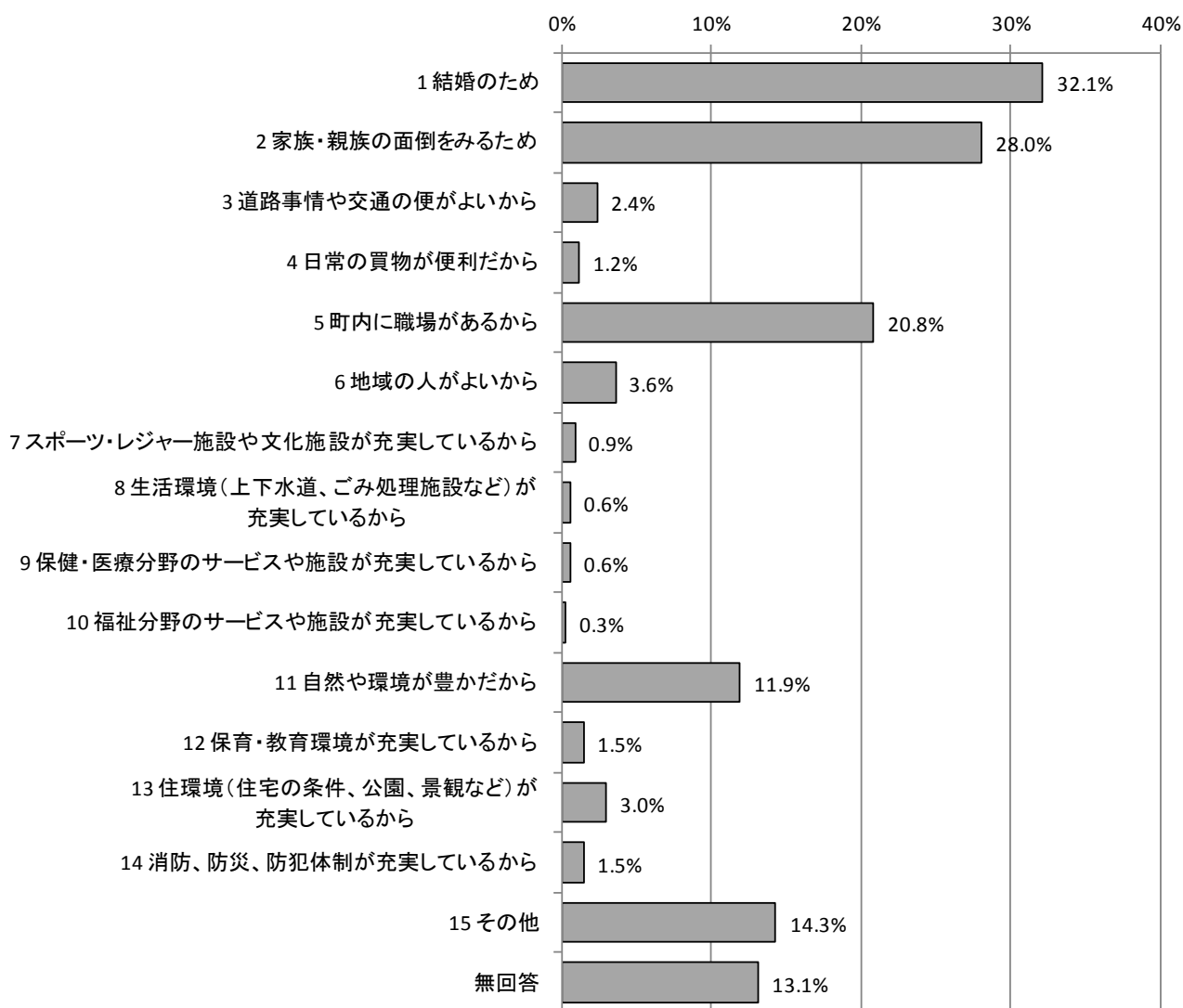
	人数	割合
1 松山市	154	45.8%
2 今治市	4	1.2%
3 宇和島市	0	0.0%
4 西条市	4	1.2%
5 大洲市	4	1.2%
6 伊予市	6	1.8%
7 西予市	1	0.3%
8 東温市	3	0.9%
9 松前町	3	0.9%
10 砥部町	10	3.0%
11 その他県内	28	8.3%
12 その他県外	76	22.6%
無回答	43	12.8%
合計	336	100.0%



問13-2 現在の住所に転入（転居）した理由に近いものを選んでください。（MA）

回答対象：問12で「2 生まれも住所もだが、以外での居住経験がある」～「4 県外から転入してきた」を選択した方

「結婚のため」と回答された方の割合（32.1%）が最も高く、次いで「家族・親族の面倒をみるため」（28.0%）、「町内に職場があるから」（20.8%）が高くなっています。また、家族や就労に関すること以外では、「自然や環境が豊かだから」（11.9%）が高くなっています。



回答者数=336

	人数	割合
1 結婚のため	108	32.1%
2 家族・親族の面倒をみるため	94	28.0%
3 道路事情や交通の便がよいから	8	2.4%
4 日常の買物が便利だから	4	1.2%
5 内に適当な職場があるから	70	20.8%
6 地域の人がよいから	12	3.6%
7 スポーツ・レジャー施設や文化施設が充実しているから	3	0.9%
8 生活環境(上下水道・ごみ処理施設など)が充実しているから	2	0.6%
9 保健・医療分野のサービスや施設が充実しているから	2	0.6%
10 福祉分野のサービスや施設が充実しているから	1	0.3%
11 自然や環境が豊かだから	40	11.9%
12 保育・教育環境が充実しているから	5	1.5%
13 住環境(住宅の条件、公園、景観など)が充実しているから	10	3.0%
14 消防、防災、防犯体制が充実しているから	5	1.5%
15 その他	48	14.3%
無回答	44	13.1%
合計	336	100.0%

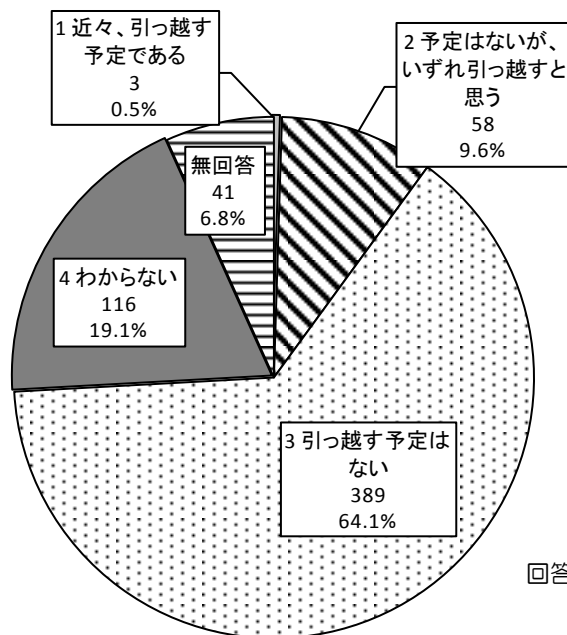
#### その他の主なもの

(複数あったもの)・Uターン (生まれたところだから など)

(単数のもの)・いずれ住もうと思っていた。 ・家族と死別したため。

## 6 今後のお住まいについて

問14 あなたは、将来的に町外へ引っ越しご予定はありますか。(SA)



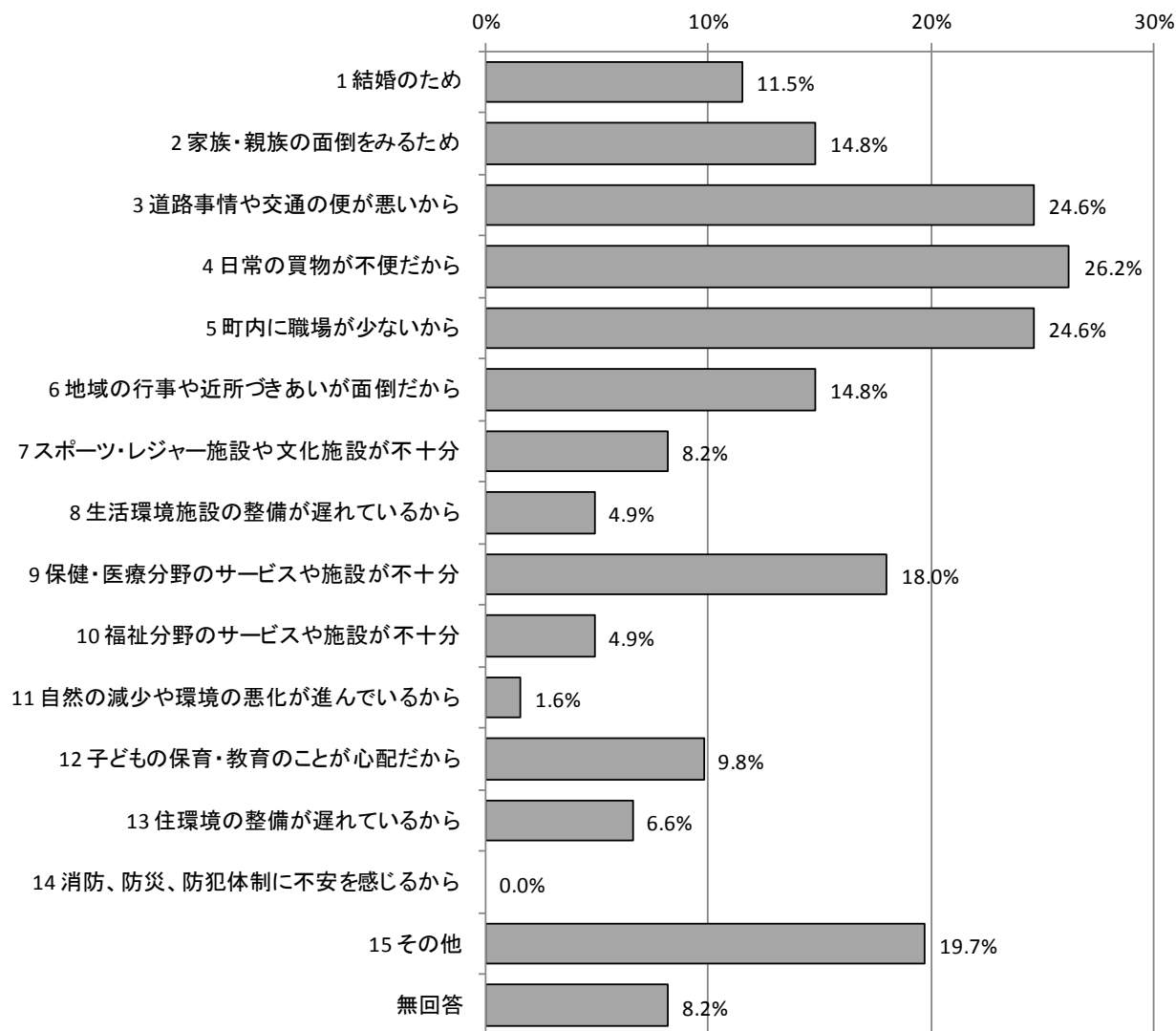
「引っ越し予定はない」と回答した方の割合（64.1%）が最も高くなっています。全体として、転出の意向を示しているのは約1割ほどでした。（「近々、引っ越し予定である」（0.5%）と「予定はないが、いずれ引っ越すと思う」（9.6%）の和、10.1%）

	人数	割合
1 近々、引っ越し予定である	3	0.5%
2 予定はないが、いずれ引っ越すと思う	58	9.6%
3 引っ越し予定はない	389	64.2%
4 わからない	116	19.1%
無回答	41	6.6%
合計	607	100.0%

### 問14-1 引っ越す理由は何ですか。(MA)

回答対象：問14で「1 近々、引っ越す予定である」、「2 予定はないが、いずれ引っ越すと思う」を選択した方

結婚や家族・親族を理由にする方よりも、「日常の買い物が不便だから」(26.2%)、「道路事情や交通の便が悪いから」(24.6%)、「町内に職場が少ないから」(24.6%)など、生活の利便を求めて引っ越す方が多いことがうかがえます。



回答者数=61

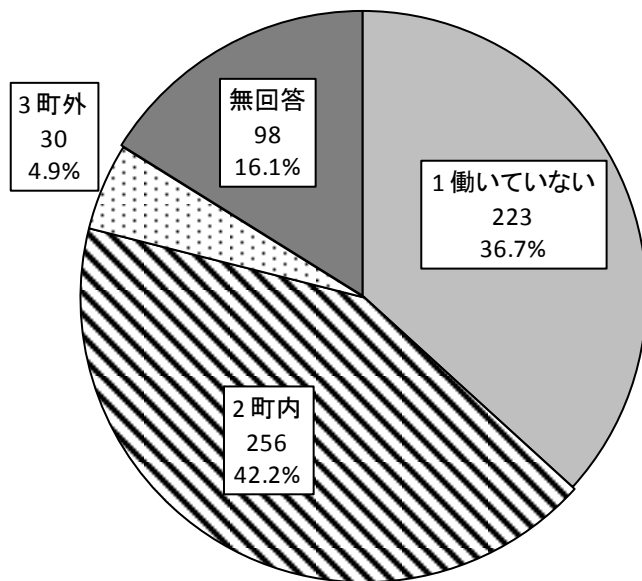
	人数	割合
1 結婚のため	7	11.5%
2 家族・親族の面倒をみるため	9	14.8%
3 道路事情や交通の便が悪いから	15	24.6%
4 日常の買物が不便だから	16	26.2%
5 町内に適当な職場が少ないから	15	24.6%
6 地域の行事や近所づきあいが面倒だから	9	14.8%
7 スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分	5	8.2%
8 生活環境施設の整備が遅れているから	3	4.9%
9 保健・医療分野のサービスや施設が不十分	11	18.0%
10 福祉分野のサービスや施設が不十分	3	4.9%
11 自然や環境の悪化が進んでいるから	1	1.6%
12 子どもの保育・教育のことが心配だから	6	9.8%
13 住環境の整備が遅れているから	4	6.6%
14 消防、防災、防犯体制に不安を感じるから	0	0.0%
15 その他	12	19.7%
無回答	5	8.2%
合計	61	100.0%

#### その他の主なもの

(複数あったもの)・Uターン (生まれたところへ帰る など)

## 7 働くことについて

問15 あなたは、現在、どこで働いていますか。(SA)



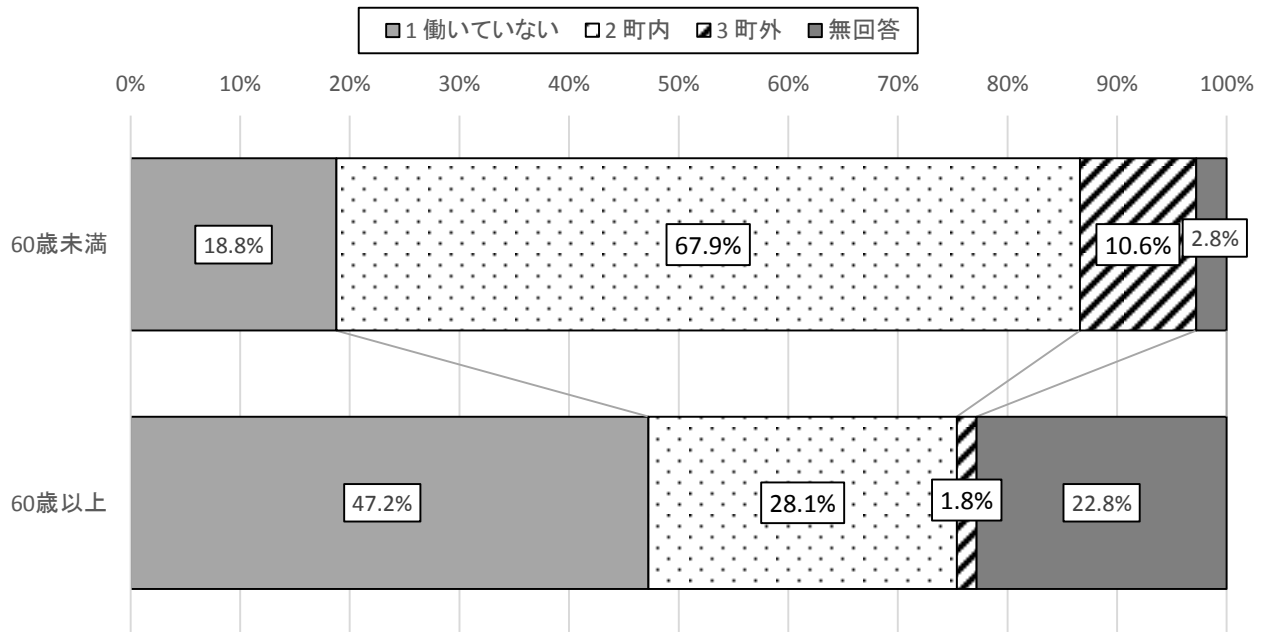
「町内」と回答した方の割合（42.2%）が最も高くなっています。

回答者数=607

	人数	割合
1 働いていない	223	36.7%
2 町内	256	42.2%
3 町外	30	4.9%
無回答	98	16.1%
合計	607	100.0%

## 【年代別】

上記の結果を、60歳未満と60歳以上で比較をすると、60歳未満においては約7割が町内で働いていると回答しており、60歳以上においては約5割が働いていないと回答しています。



回答者数=598  
※年齢無回答者を除外

	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 働いていない	41	18.8%	180	47.2%
2 町内	148	67.9%	107	28.1%
3 町外	23	10.6%	7	1.8%
無回答	6	2.8%	87	22.8%
合計	218	100.0%	381	100.0%

問15-1 今後働く場合、次のうちどの分野の仕事を希望しますか。(MA)

回答対象：問15で「1 働いていない」を選択した方

結果については、以下の通りです。

	60歳未満		60歳以上	
	人数	割合	人数	割合
1 農林業	7	17.1%	30	16.7%
2 漁業	0	0.0%	1	0.6%
3 金属製品製造・加工業	1	2.4%	0	0.0%
4 自動車製造業	0	0.0%	1	0.6%
5 工業製品製造業	2	4.9%	0	0.0%
6 バス・タクシー運転手	0	0.0%	2	1.1%
8 運輸業	0	0.0%	1	0.6%
9 清掃・ごみ処理業	0	0.0%	1	0.6%
10 庶務・経理など事務	9	22.0%	3	1.7%
11 商品販売・営業	7	17.1%	3	1.7%
12 介護職	5	12.2%	0	0.0%
13 医療関連	4	9.8%	2	1.1%
14 美容業	1	2.4%	2	1.1%
15 飲食業	9	22.0%	4	2.2%
18 働きたくない	9	22.0%	52	28.9%
19 その他	8	19.5%	47	26.1%
無回答	3	7.3%	44	24.4%
合計	41	100.0%	180	100.0%

その他の主なもの

(複数あったもの)・在宅でできる仕事

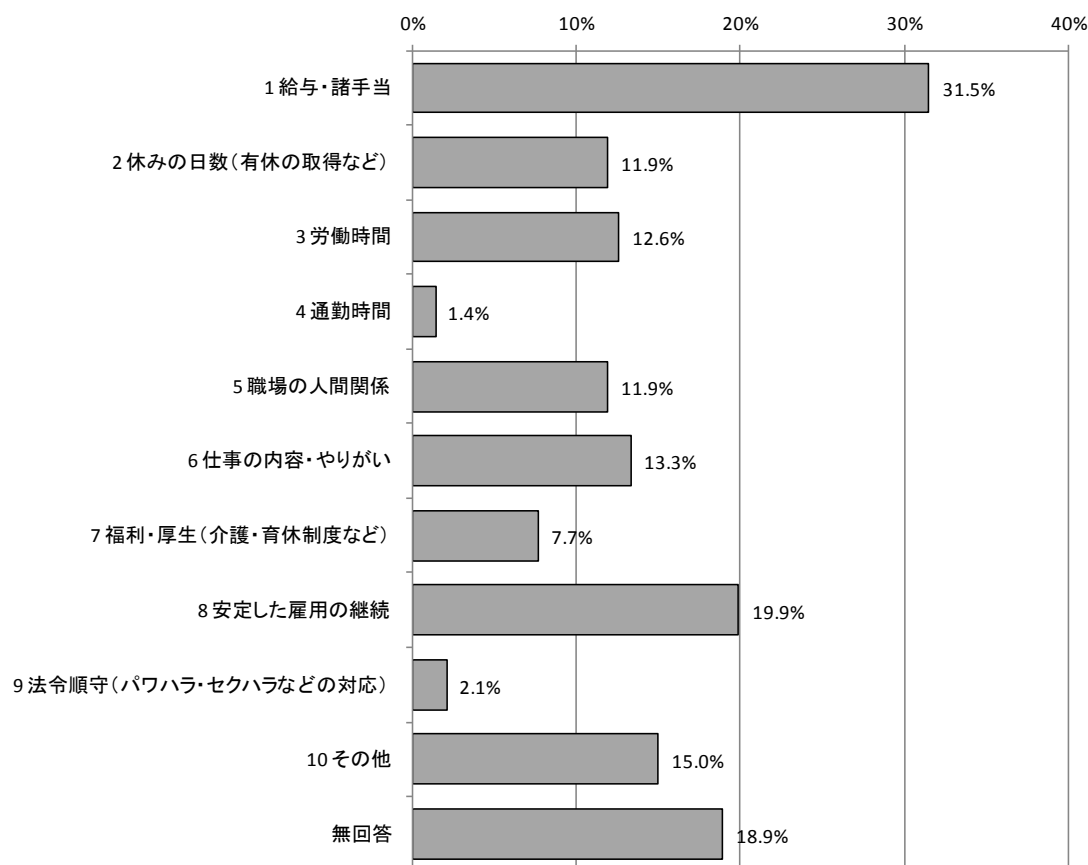
(単数のもの)・文筆業



問15-2 現在、働いている環境で改善してほしい点は何ですか。(MA)

回答対象：問15で「2 町内」、「3 町外」を選択した方

「給与・諸手当」と回答された方の割合(31.5%)が最も高く、次いで「安定した雇用の継続」(19.9%)、を回答される方の割合が高くなっています。



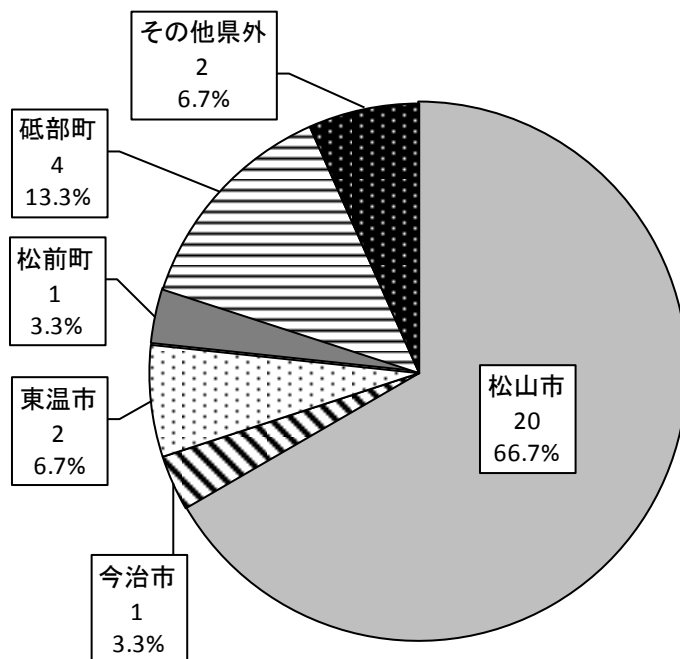
回答者数=286

	人数	割合
1 給与・諸手当	90	31.5%
2 休みの日数(有休の取得など)	34	11.9%
3 労働時間	36	12.6%
4 通勤時間	4	1.4%
5 職場の人間関係	34	11.9%
6 仕事の内容・やりがい	38	13.3%
7 福利・厚生(介護・育休制度など)	22	7.7%
8 安定した雇用の継続	57	19.9%
9 法令順守(パワハラ・セクハラなどの対応)	6	2.1%
10 その他	43	15.0%
無回答	54	18.9%
合計	286	100.0%

問15-3 どこで働いていますか。(SA)

回答対象：問15で「3 町外」を選択した方

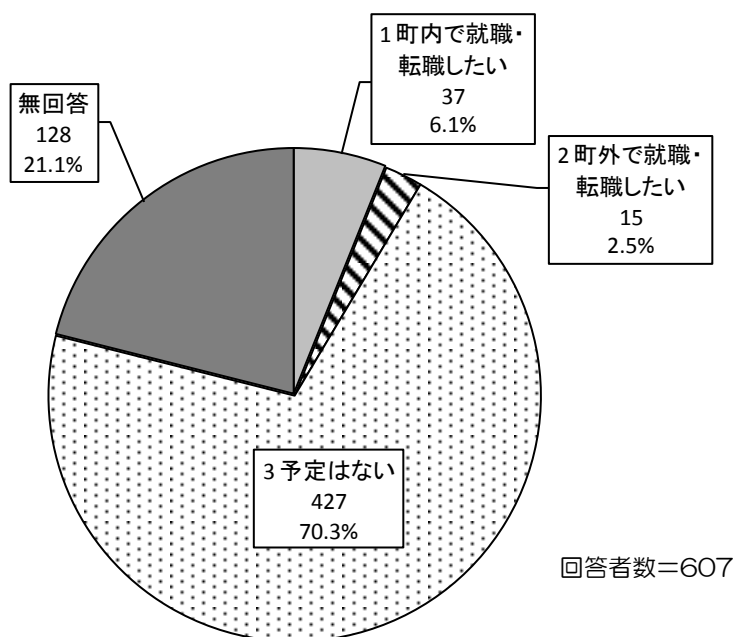
「松山市」と回答された方の割合（66.7%）が最も高くなっています。



回答者数=30

	人数	割合
松山市	20	66.7%
今治市	1	3.3%
東温市	2	6.7%
松前町	1	3.3%
砥部町	4	13.3%
その他県外	2	6.7%
合計	30	100.0%

問16 あなたは、今後、新たに職に就く、もしくは転職する予定はありますか。(SA)

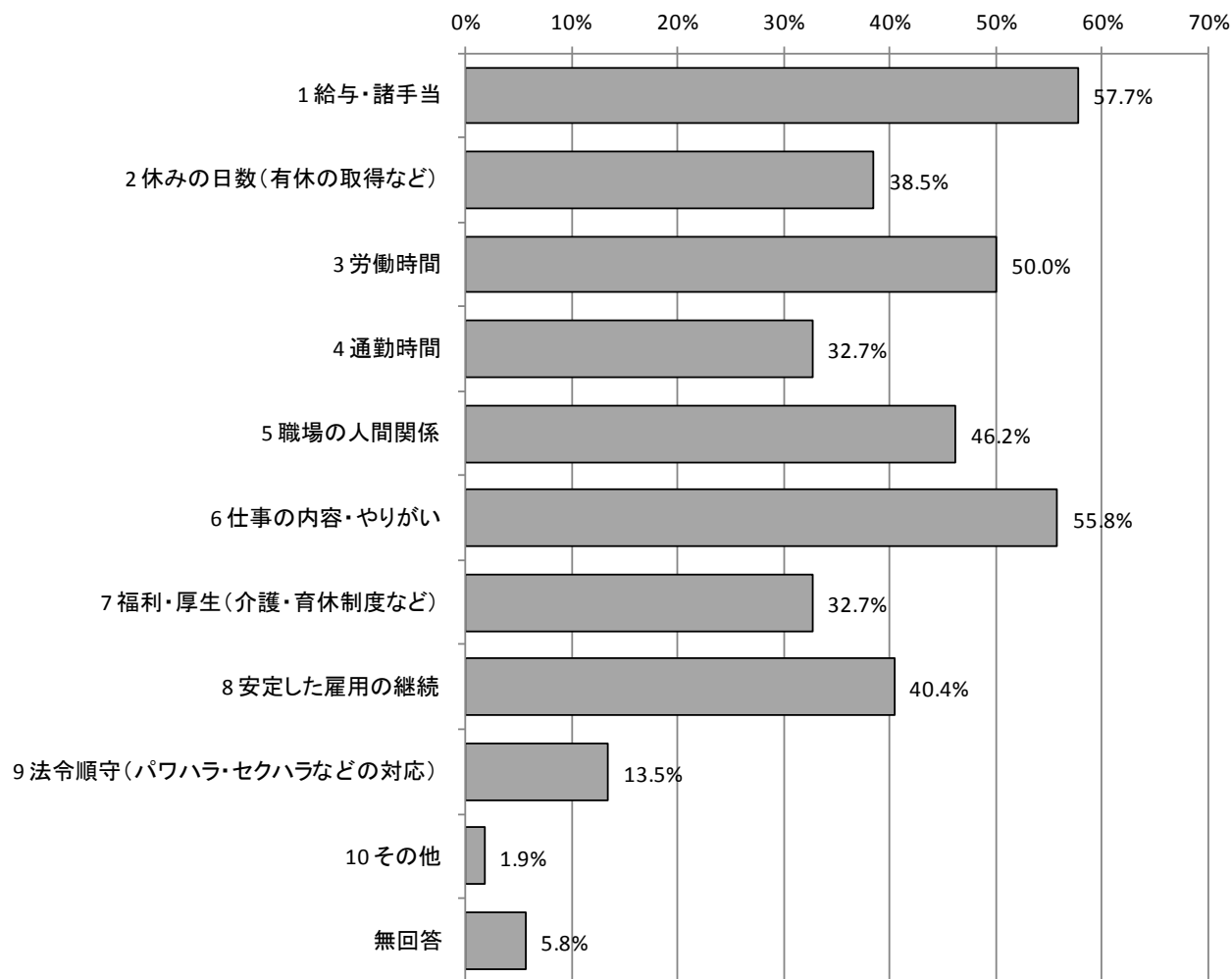


	人数	割合
1 町内で就職・転職したい	37	6.1%
2 町外で就職・転職したい	15	2.5%
3 予定はない	427	70.3%
無回答	128	21.1%
合計	607	100.0%

問16-1 あなたは仕事を選択する上で何を重視しますか。(MA)

回答対象：問16で「1 町内で就職・転職したい」「2 町外で就職・転職したい」を選択した方

「給与・諸手当」と回答された方の割合（57.5%）が最も高くなっており、次いで「仕事の内容・やりがい」（55.8%）が高くなっています。



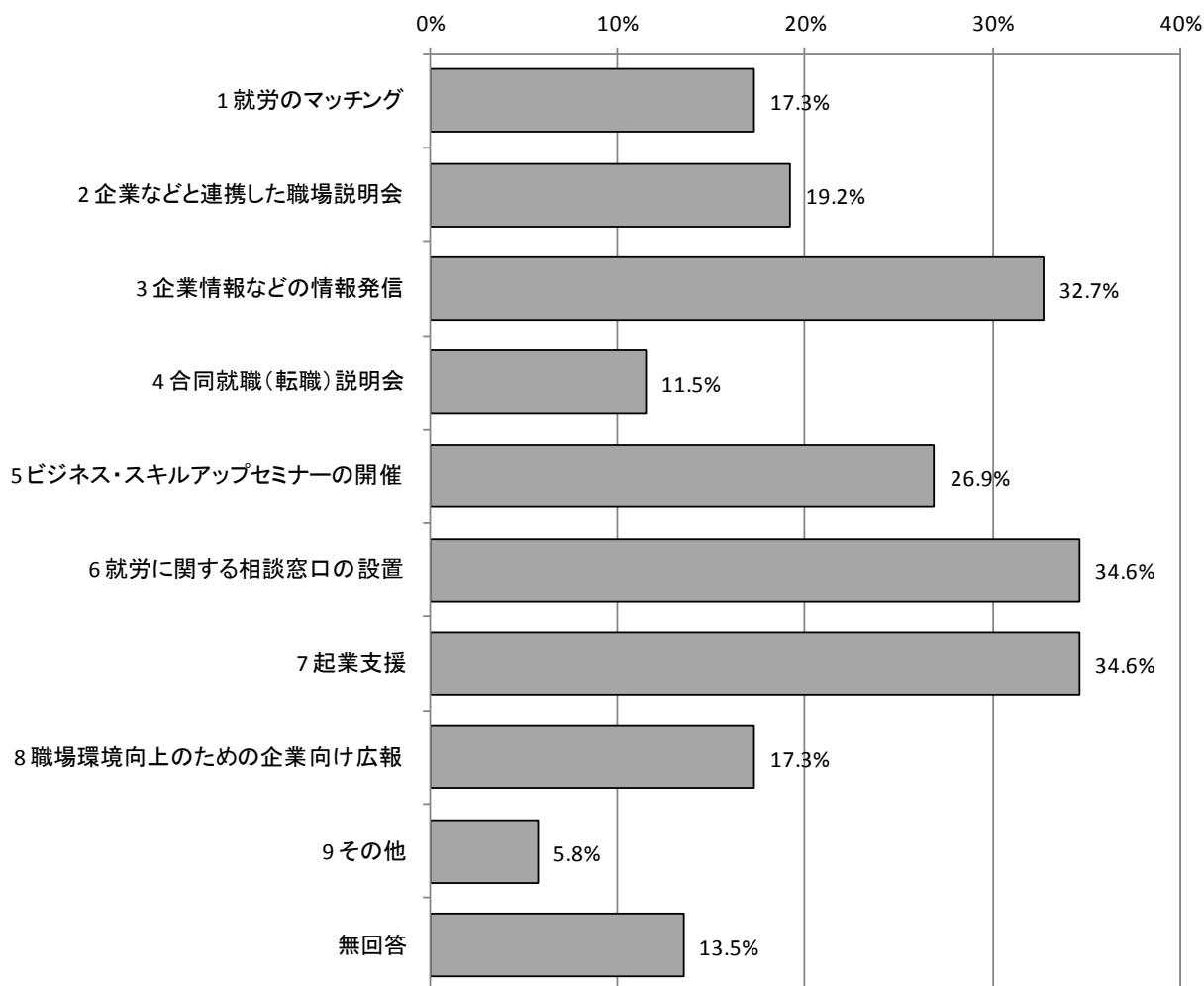
回答者数=52

	人数	割合
1 給与・諸手当	30	57.7%
2 休みの日数(有休の取得など)	20	38.5%
3 労働時間	26	50.0%
4 通勤時間	17	32.7%
5 職場の人間関係	24	46.2%
6 仕事の内容・やりがい	29	55.8%
7 福利・厚生(介護・育休制度など)	17	32.7%
8 安定した雇用の継続	21	40.4%
9 法令順守(パワハラ・セクハラなどの対応)	7	13.5%
10 その他	1	1.9%
無回答	3	5.8%
合計	52	100.0%

問17 町内で、よりよい働く場所の拡充を進めるために、行政が取り組むべき対策として、必要だと感じるものは何ですか。(MA)

回答対象：問14で「1 町内で就職・転職したい」「2 町外で就職・転職したい」を選択した方

「就労に関する相談窓口の設置」(34.6%)、「起業支援」(34.6%)、「企業情報など情報発信」(32.7%)、の順に高くなっています。



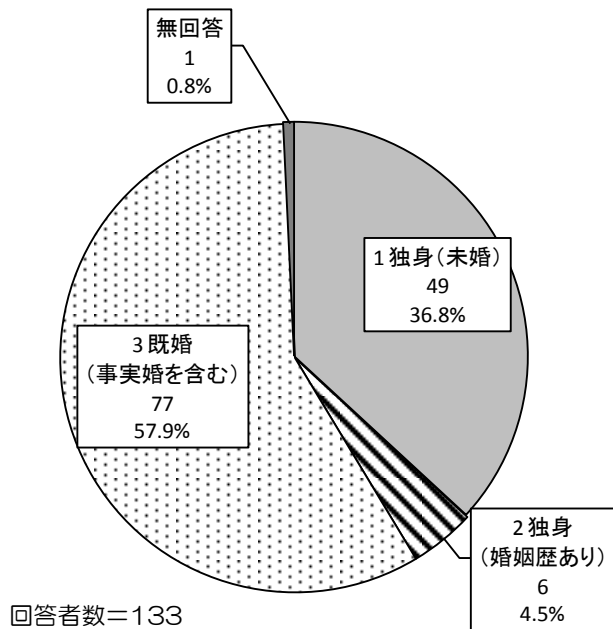
回答者数=52

	人数	割合
1 就労のマッチング	9	17.3%
2 企業などと連携した職場体験	10	19.2%
3 企業情報などの情報発信	17	32.7%
4 合同就職(転職)説明会	6	11.5%
5 ビジネス・スキルアップセミナーの開催	14	26.9%
6 就労に関する相談窓口の設置	18	34.6%
7 起業支援	18	34.6%
8 職場環境向上のための企業向け広報	9	17.3%
9 その他	3	5.8%
無回答	7	13.5%
合計	52	100.0%

## 8 結婚について

問19 あなたは、現在、結婚していますか。(SA)

回答対象：問2で「1 10歳代」～「4 40歳代」を選択した方



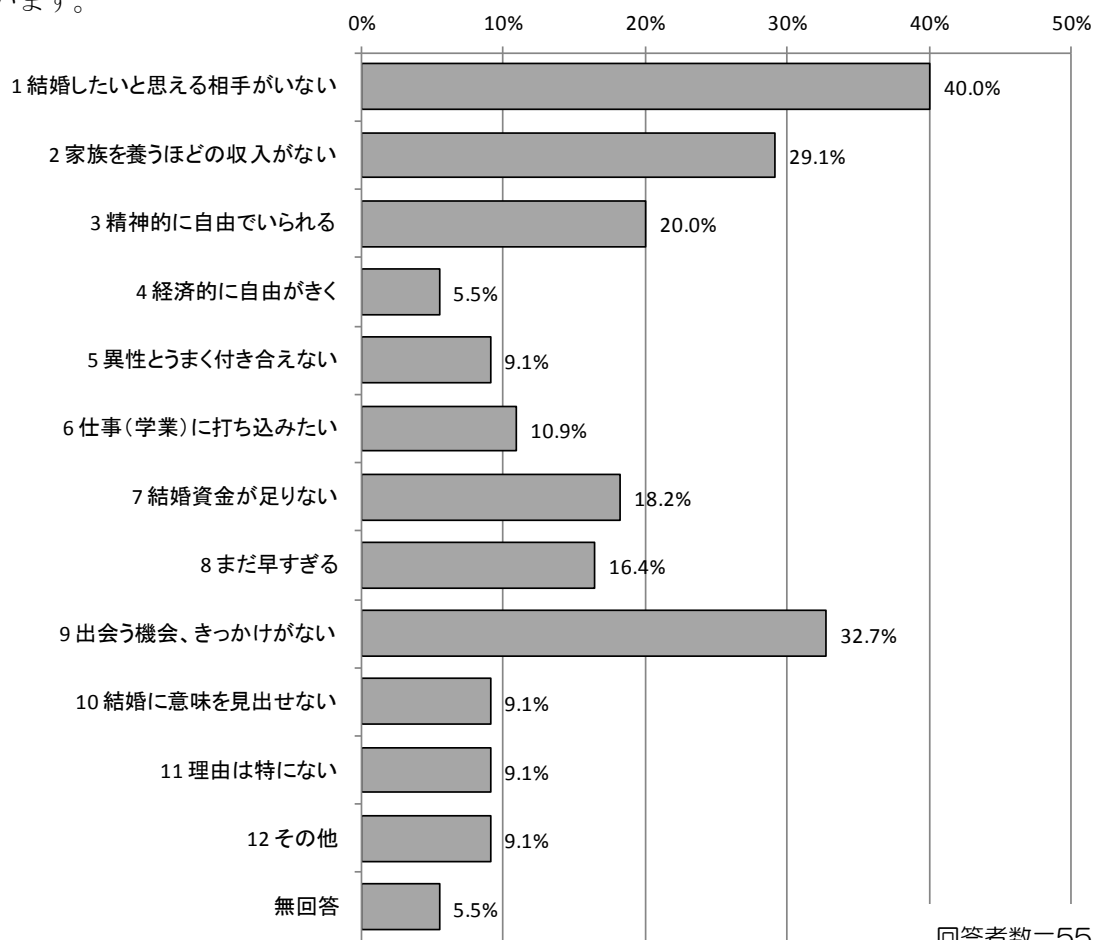
「既婚（事実婚を含む）」と回答した方の割合（57.9%）が最も高くなっています。

	人数	割合
1 独身(未婚)	49	36.8%
2 独身(婚姻歴あり)	6	4.5%
3 既婚(事実婚を含む)	77	57.9%
無回答	1	0.8%
合計	133	100.0%

問19-1 現在、結婚されていない理由は何ですか。(MA)

回答対象：問4で「1 独身（未婚）」「2 独身（婚姻歴あり）」を選択した方

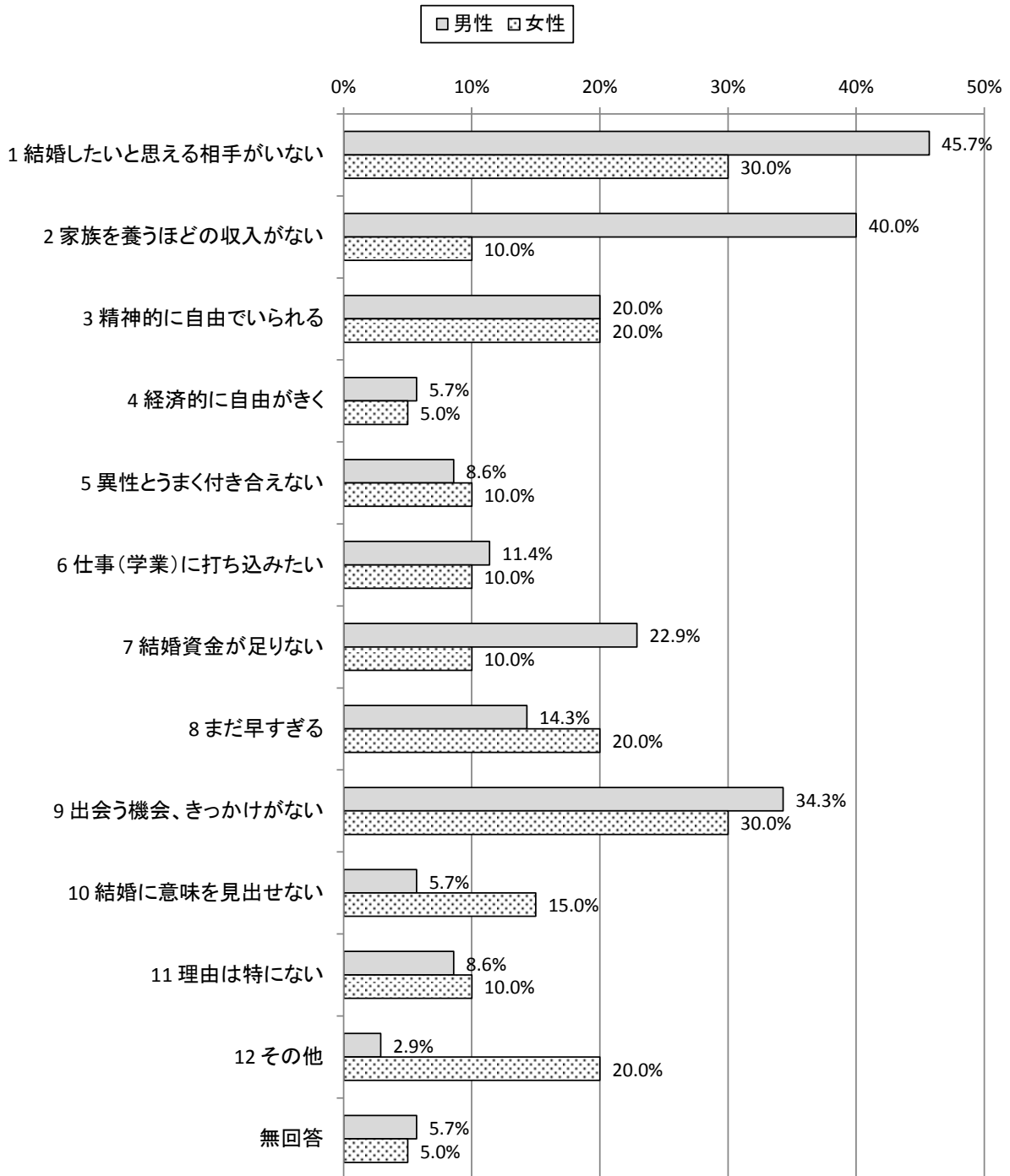
「結婚したいと思える相手がない」と回答した方の割合（40.0%）が最も高く、次いで「出会う機会、きっかけがない」（32.7%）、「家族を養うほどの収入がない」（29.1%）と回答した方の割合が高くなっています。



	回答数	割合
1 結婚したいと思える相手がない	22	40.0%
2 家族を養うほどの収入がない	16	29.1%
3 精神的に自由でいられる	11	20.0%
4 経済的に自由がきく	3	5.5%
5 異性とうまく付き合えない	5	9.1%
6 仕事(学業)に打ち込みたい	6	10.9%
7 結婚資金が足りない	10	18.2%
8 まだ早すぎる	9	16.4%
9 出会う機会やきっかけがない	18	32.7%
10 結婚に意味を見出せない	5	9.1%
11 特に理由はない	5	9.1%
12 その他	5	9.1%
無回答	3	5.5%
回答者数	55	100.0%

## 【男女別】

上記の結果において、特に男女別で結果をみると、男性において「家族を養うほどの収入がない」「結婚資金が足りない」を選択した割合が高くなっており、特に男性において経済的理由が結婚の妨げになっていることが分かります。

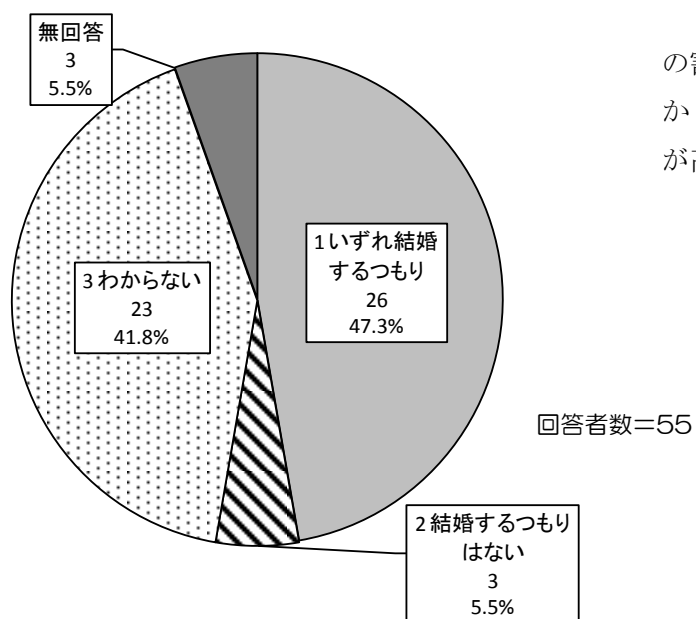


回答者数=55



問19-2 今後の結婚に関する考えは次のうち、どれにあてはまりますか。(SA)

回答対象：問19で「1 独身（未婚）」「2 独身（婚姻歴あり）」を選択した方



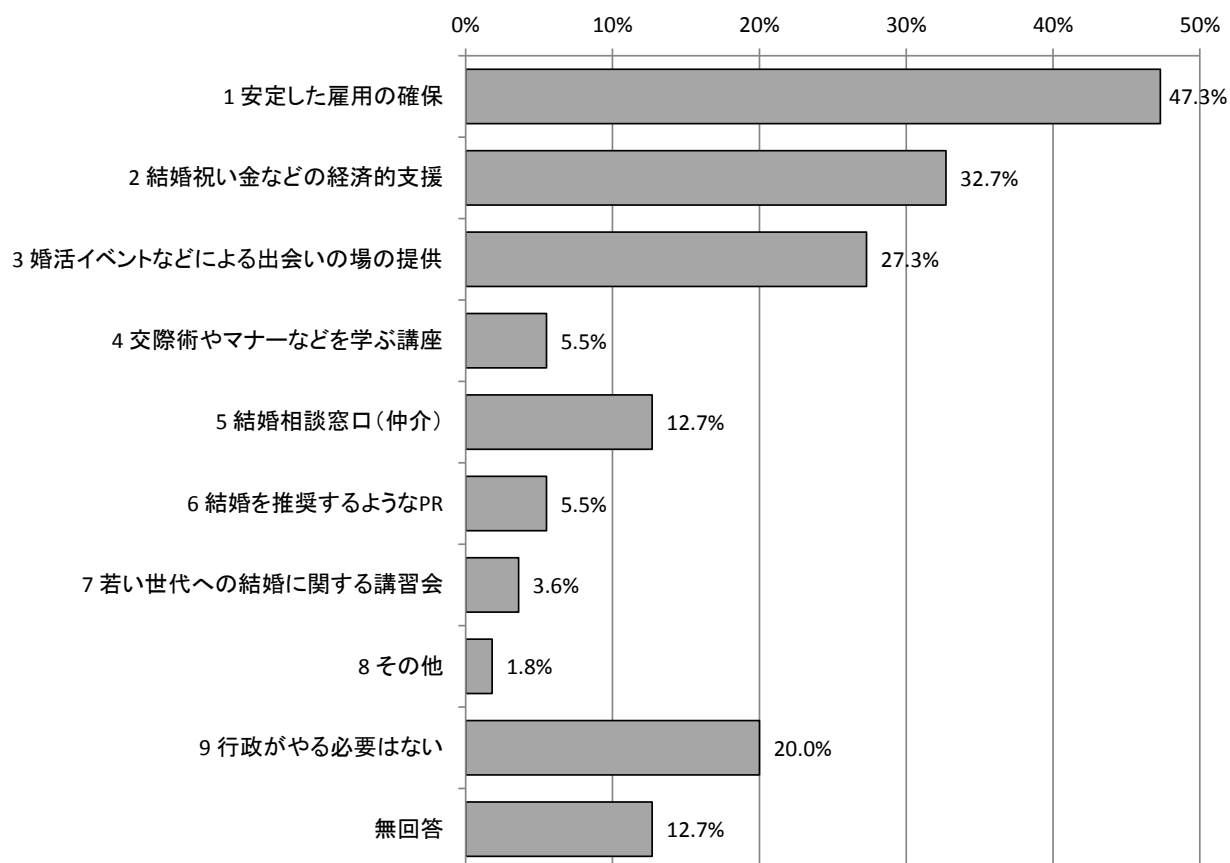
「いずれ結婚するつもり」と回答した方の割合（47.3%）が最も高く、次いで「わからない」と回答した方の割合（41.8%）が高くなっています。

	人数	割合
1 いずれ結婚するつもり	26	47.3%
2 結婚するつもりはない	3	5.5%
3 わからない	23	41.8%
無回答	3	5.5%
合計	55	100.0%

問19-3 町に取り組んでほしい結婚支援対策は何ですか。(MA)

回答対象：問19で「1 独身（未婚）」「2 独身（婚姻歴あり）」を選択した方

「安定した雇用の確保」と回答した方の割合（47.3%）が最も高く、次いで「結婚祝い金などの経済的支援」（32.7%）と回答した方の割合が高くなっています。全体として、出会いの機会づくりの支援よりも、経済的な支援が望まれている傾向がみられます。



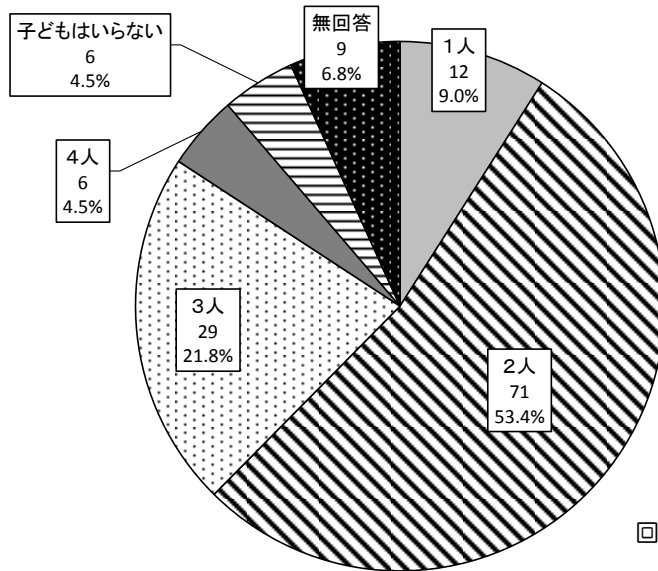
回答者数=55

	回答数	割合
1 安定した雇用の確保	26	47.3%
2 結婚祝い金などの経済的支援	18	32.7%
3 婚活イベントなどによる出会いの場の提供	15	27.3%
4 交際術やマナーなどを学ぶ講座	3	5.5%
5 結婚相談窓口(仲介)	7	12.7%
6 結婚を推奨するようなPR	3	5.5%
7 若い世代への結婚に関する講習会	2	3.6%
8 その他	1	1.8%
9 行政がやる必要はない	11	20.0%
無回答	7	12.7%
回答者数	55	100.0%

## 9 出産・育児について

問20 将来的に何人の子どもを持つと考えていますか（今いる子どもの人数を含む）。（SA）

回答対象：問2で「1 10歳代」～「4 40歳代」を選択した方



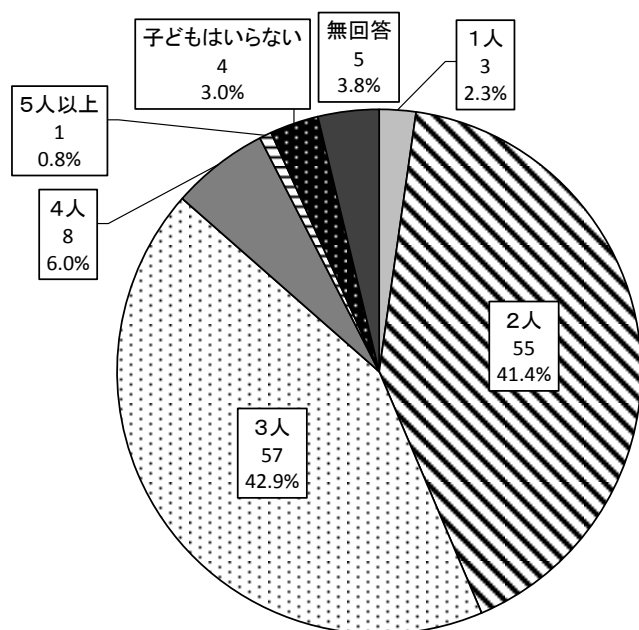
回答者数=133

現実的に何人の子どもを持つ意向かを問う設問ですが、「2人」と回答した方の割合（53.4%）が最も高く、次いで「3人」と回答した方の割合（21.8%）が高くなっています。

	人数	割合
1人	12	9.0%
2人	71	53.4%
3人	29	21.8%
4人	6	4.5%
5人以上	0	0.0%
子どもはいらない	6	4.5%
無回答	9	6.8%
合計	133	100.0%

問21 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（今いる子どもの人数も含む）。（SA）

回答対象：問2で「1 10歳代」～「4 40歳代」を選択した方



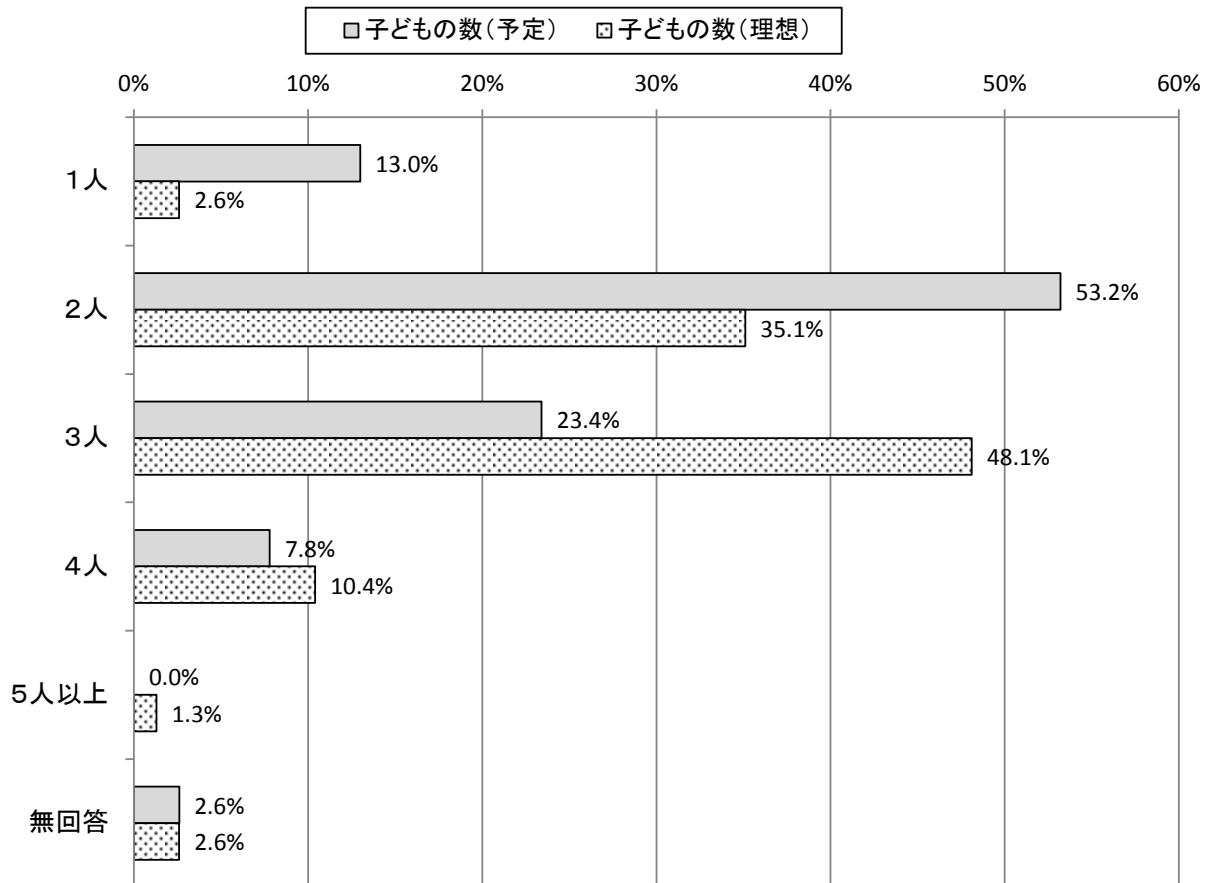
理想の子どもの人数を問う設問ですが、「3人」と回答した方の割合（42.9%）が最も高く、次いで「2人」と回答した方の割合（41.4%）が高くなっています。

回答者数=133

	人数	割合
1人	3	2.3%
2人	55	41.4%
3人	57	42.9%
4人	8	6.0%
5人以上	1	0.8%
子どもはいらない	4	3.0%
無回答	5	3.8%
合計	133	100.0%

## 【既婚者の考える子どもの数】

上記の結果において、特に既婚者の予定と理想のギャップをみると、理想としては子どもが3人ほしいとするものの、現実には2人にとどまっている家庭が多いものと考えられる結果となっています。



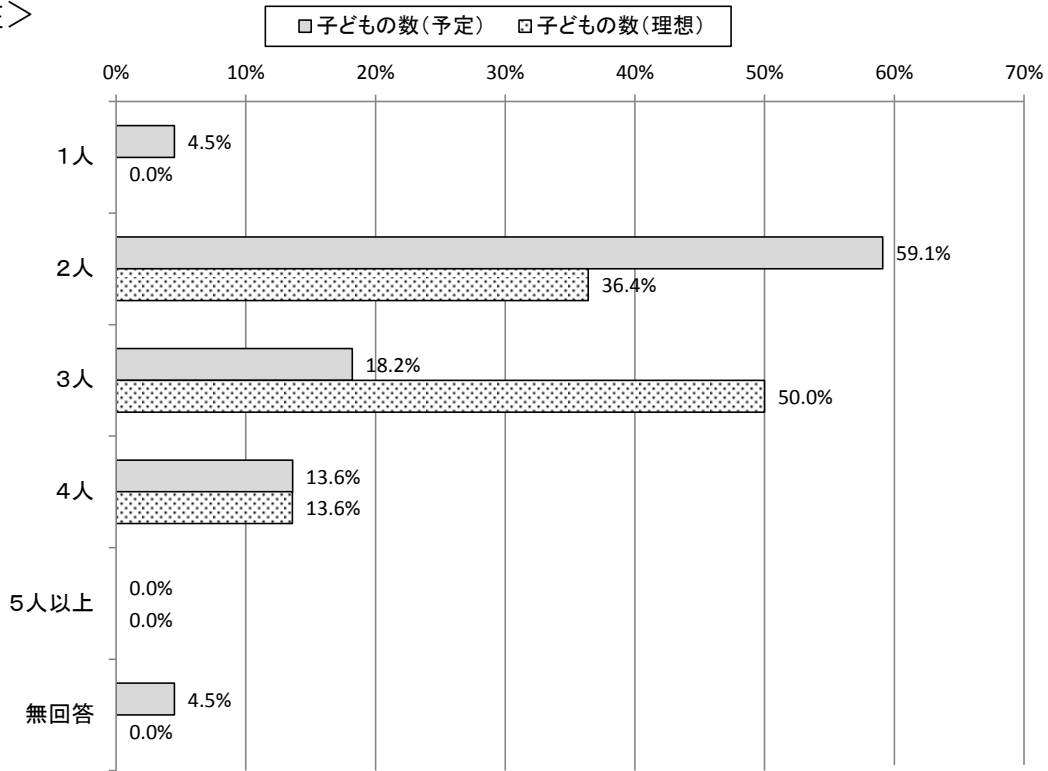
回答者数=77

	問 20 子どもの数(予定)		問 21 子どもの数(理想)	
	人数	割合	人数	割合
1人	10	13.0%	2	2.6%
2人	41	53.2%	27	35.1%
3人	18	23.4%	37	48.1%
4人	6	7.8%	8	10.4%
5人以上	0	0.0%	1	1.3%
子どもはいらない	2	2.6%	2	2.6%
合計	77	100.0%	77	100.0%

## 【男女別】

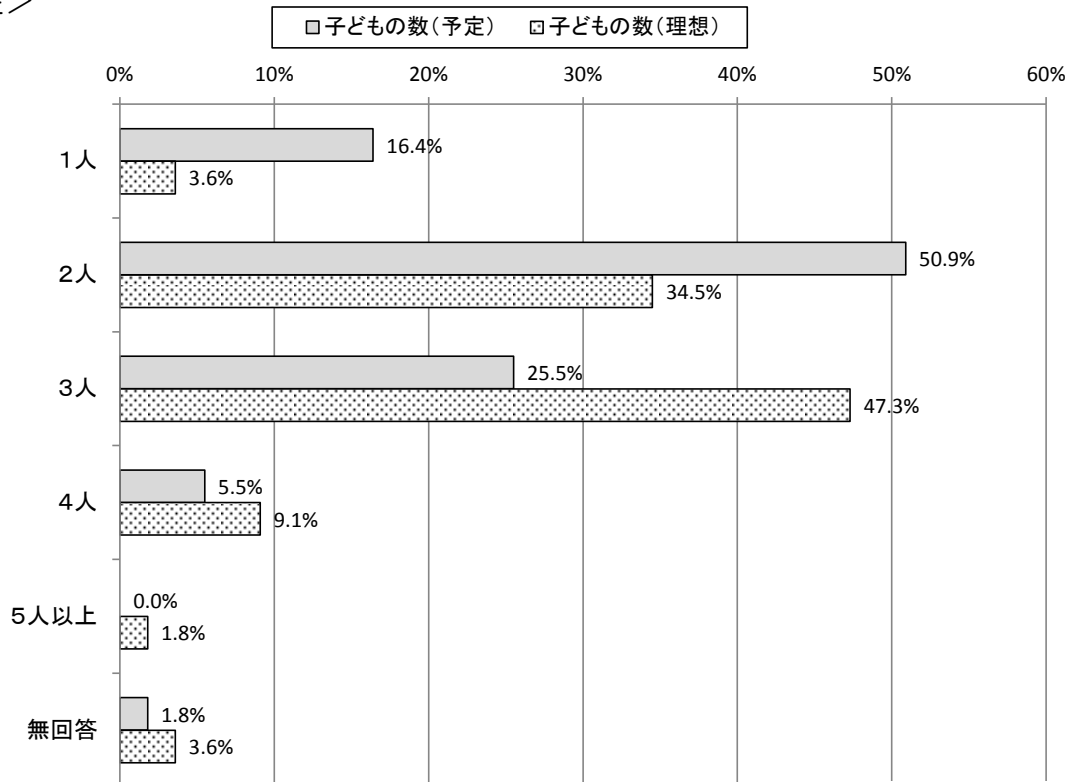
男女別の既婚者の、今後の子どもの予定と理想のギャップをみると、男女間で傾向に大きな違いがないことが分かります。

### <男性>



回答者数=22

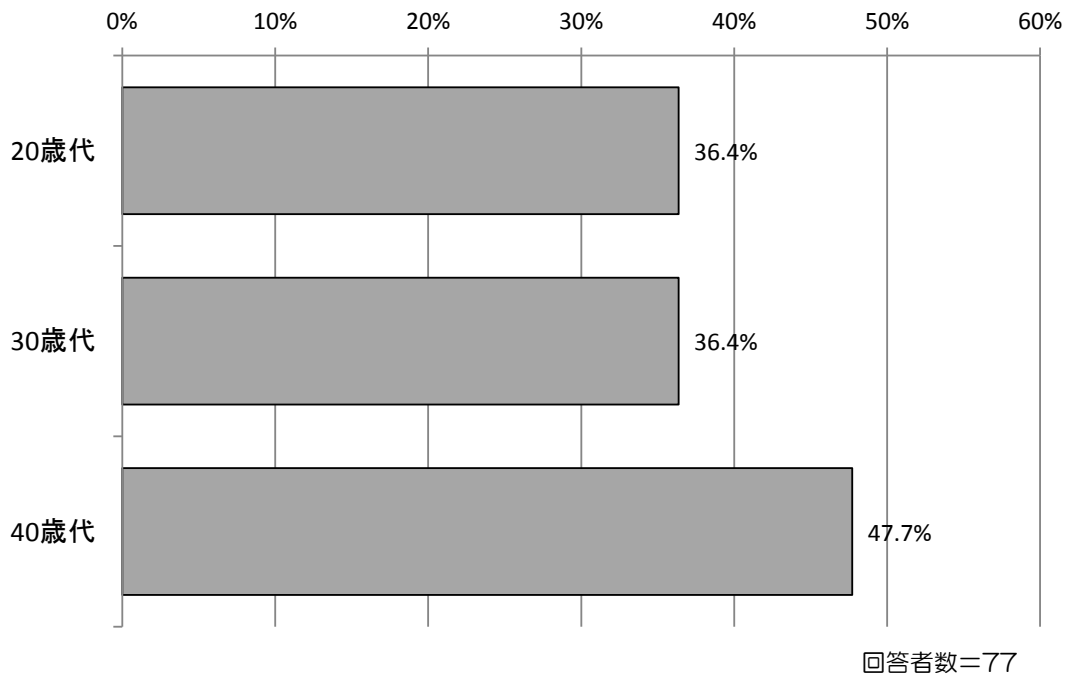
### <女性>



回答者数=55

### 【子どもの数が理想未満の既婚者の割合：年代別】

既婚者全体の中で、子どもの数が理想の数未満の方が、年代ごとにどのくらいおられるかを見たのが以下のグラフです。40歳代において、約半数の方が子どもの数が理想未満となっています。

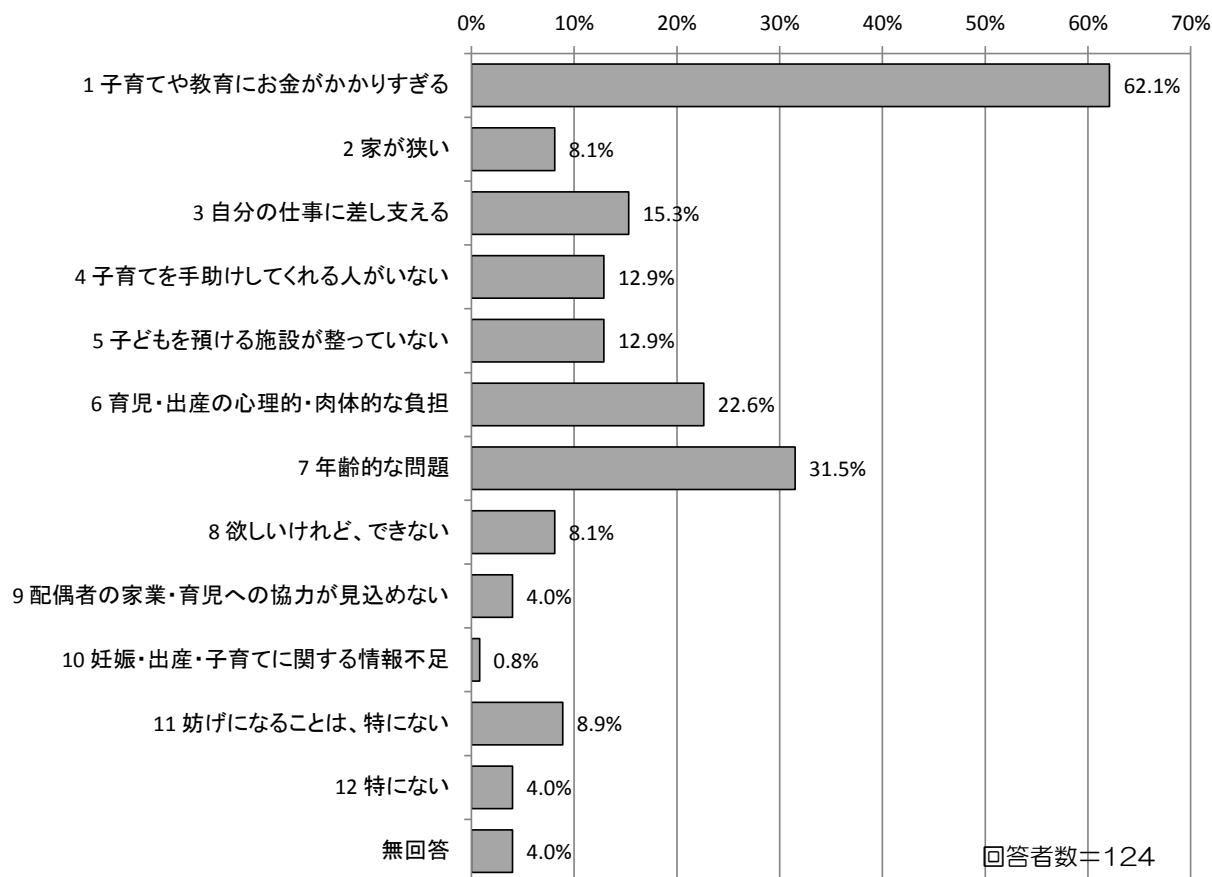


	子どもの数が理想未満の既婚者		既婚者	
	人数	割合	人数	割合
20歳代	4	12.1%	11	14.3%
30歳代	8	24.2%	22	28.6%
40歳代	21	63.6%	44	57.1%
合計	33	100.0%	77	100.0%

問21-1 理想的な子どもの数を実現する上で、妨げとなることは何ですか。(MA)

回答対象：問21で「1人」～「5人以上」を選択した方

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」と回答した方の割合（62.1%）が群を抜いて高く、次いで「年齢的な問題」（31.5%）と回答した方の割合が高くなっています。

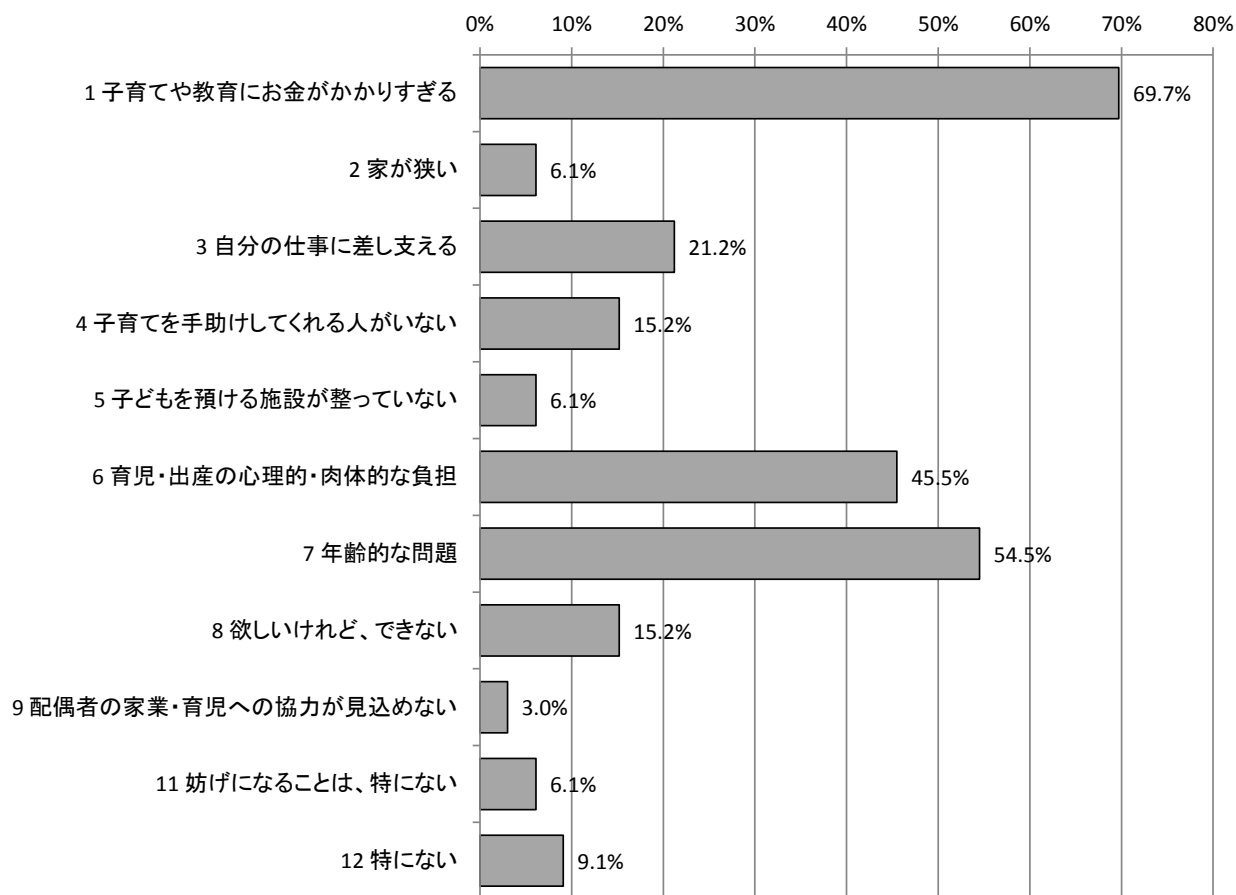


	回答数	割合
1 子育てや教育にお金がかかりすぎる	77	62.1%
2 家が狭い	10	8.1%
3 自分の仕事に差し支える	19	15.3%
4 子育てを手助けしてくれる人がいない	16	12.9%
5 子どもを預ける施設が整っていない	16	12.9%
6 育児・出産の心理的・肉体的な負担	28	22.6%
7 年齢的な問題	39	31.5%
8 欲しいけれど、できない	10	8.1%
9 家業・育児に配偶者の協力が見込めない	5	4.0%
10 妊娠・出産・子育てに関する情報不足	1	0.8%
11 妨げになることは、特にない	11	8.9%
12 その他	5	4.0%
無回答	5	4.0%
回答者数	124	100.0%



## 【子どもの数が理想未満の既婚者が、妨げと考えるもの】

前頁の結果から、子どもの数が理想未満の既婚者についてみると、「年齢的な問題」「育児・出産の心理的・肉体的な負担」が顕著に高い割合となる一方、「子どもを預ける施設が整っていない」は低くなっています。



回答者数=33

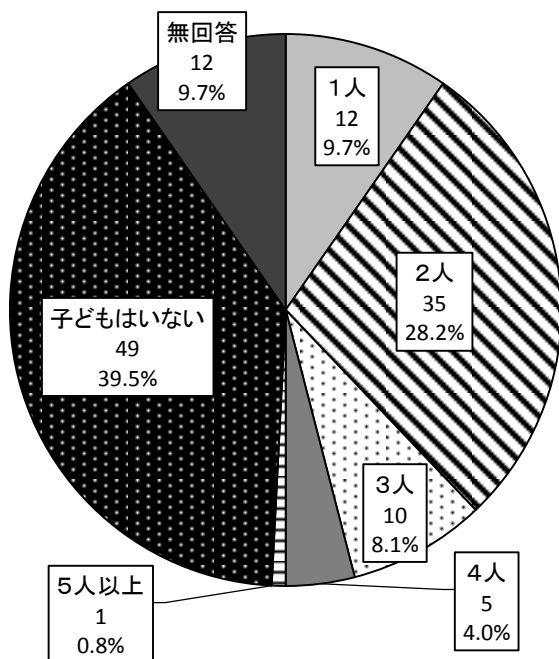
	人数	割合
1 子育てや教育にお金がかかりすぎる	23	69.7%
2 家が狭い	2	6.1%
3 自分の仕事に差し支える	7	21.2%
4 子育てを手助けしてくれる人がいない	5	15.2%
5 子どもを預ける施設が整っていない	2	6.1%
6 育児・出産の心理的・肉体的な負担	15	45.5%
7 年齢的な問題	18	54.5%
8 欲しいけれど、できない	5	15.2%
9 配偶者の家業・育児への協力が見込めない	1	3.0%
11 妨げになることは、特にない	2	6.1%
12 特にない	3	9.1%
合計	33	100.0%

その他の主なもの

(単数のもの)・親が近所に住んでいないこと。

問21-2 あなたは、現在、子どもが何人いますか。(SA)

回答対象：問21で「1人」～「5人以上」を選択した方



回答者数=124

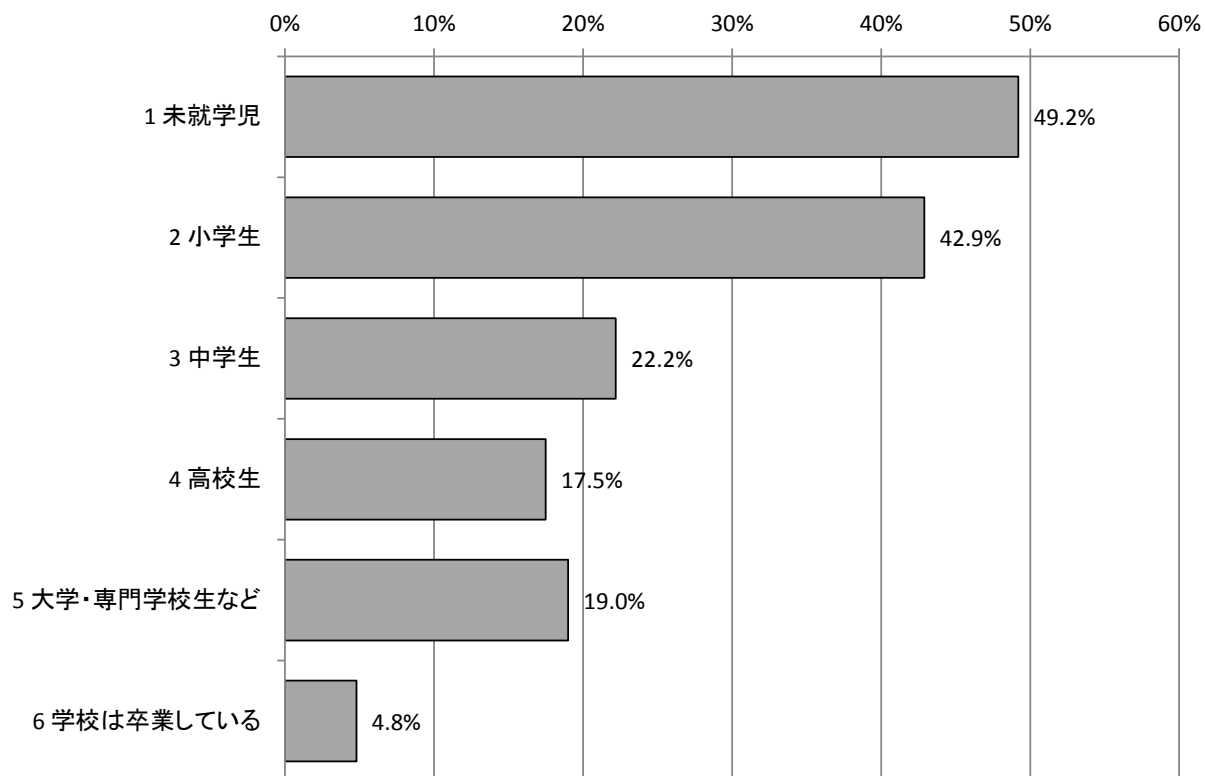
「子どもはいない」と回答した方の割合(39.5%)が最も高く、次いで「2人」と回答した方の割合(28.2%)が高くなっています。

	人数	割合
1人	12	9.7%
2人	35	28.2%
3人	10	8.1%
4人	5	4.0%
5人以上	1	0.8%
子どもはいない	49	39.5%
無回答	12	9.7%
合計	124	100.0%

問21-3 子どもは、どの段階にあてはまりますか。(MA)

回答対象：問21-2で「1人」～「5人以上」を選択した方

「未就学児」(49.2%)、「小学生」(42.9%)と回答された方の割合が高くなっています。子どもを持つ家庭の約半数に、未就学児がおられることが分かります。



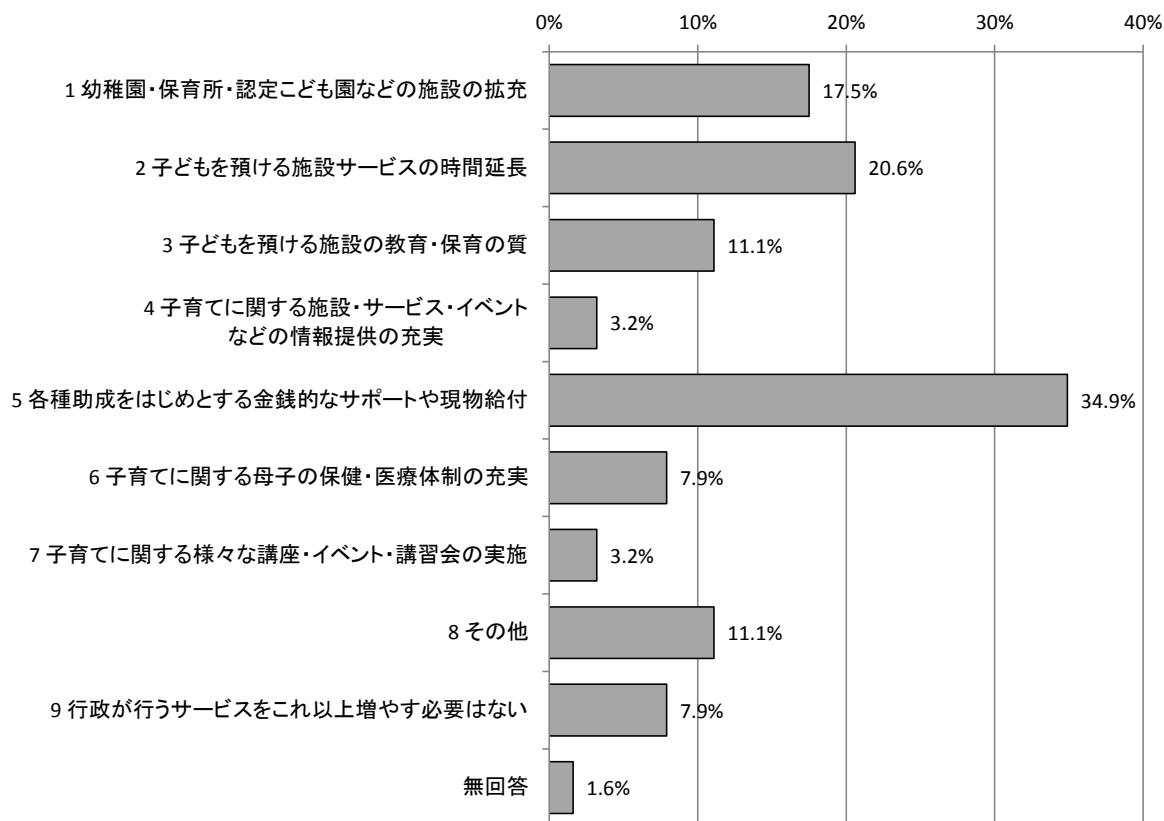
回答者数=63

	回答数	割合
1 未就学児	31	49.2%
2 小学生	27	42.9%
3 中学生	14	22.2%
4 高校生	11	17.5%
5 大学・専門学校生など	12	19.0%
6 学校は卒業している	3	4.8%
回答者数	63	100.0%

問21-4 今後、出産・育児に関するサービスとして、が最も力を入れるべきだと思うものはな  
 nderですか。(SA)

回答対象：問21-2で「1人」～「5人以上」を選択した方

「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」と経済支援を回答された方の割合(34.9%)  
 が最も高く、次いで「子どもを預ける施設サービスの時間延長」(20.6%)「幼稚園・保育所・認定こど  
 も園などの施設の拡充」(17.5%)の順に回答された方の割合が高くなっています。



回答者数=63

	回答数	割合
1 幼稚園・保育所・認定こども園などの施設の拡充	11	17.5%
2 子どもを預ける施設サービスの時間延長	13	20.6%
3 子どもを預ける施設の教育・保育の質	7	11.1%
4 子育てに関する施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	2	3.2%
5 各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付	22	34.9%
6 子育てに関する母子の保健・医療体制の充実	5	7.9%
7 子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の実施	2	3.2%
8 その他	7	11.1%
9 行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない	5	7.9%
無回答	1	1.6%
回答者数	63	100.0%

### その他の主なもの

(複数あったもの)・小児科の充実。 ・産婦人科が必要。

(単数のもの)・休日保育。 ・病児保育。 ・給食の品質向上と地産地消

### Ⅲ 本調査及び結果の妥当性について

#### 1 標本誤差

本アンケートにおいては、本町9,151人（平成27年5月31日時点）の総人口に対し2,000票のアンケート票を配布し、回収票607票（回収率30.4%）でした。この結果は総人口のうち約7%もの方から回答があったことを示し、また、信頼値95%として検定した場合（多くの統計調査において信頼値95%が基準とされているため）、標本誤差は0.017であり、98.3%の確率でアンケート結果が母集団の傾向を描写したのになっていることを示します。

#### 2 回答者と母集団の属性比較

本アンケートは、本町の施策全体の住民評価をあおぐ趣旨があったため、年齢・性別・居住地区などを層化した抽出は行わず、まったくランダムに抽出した対象へ調査票の配布を行っています。一般的な標本調査においては、「配布」でなく「回収」に母集団との隔たりがないことが重要です。

ここで、本アンケートの回答者と、本町全体の母集団との間の属性の比較を行います。

※本町全体の値は、アンケート配布対象と同じ18歳以上のものとする（平成27年5月31日時点）

##### 1 性別

	アンケート回答者		本町全体	
	人数	割合	人数	割合
男性	266	43.8%	3,803	46.4%
女性	337	55.5%	4,392	53.6%
無回答	4	0.7%		
合計	607	100.0%	8,195	100.0%

男女の比率については、アンケート回答者と本町全体の割合との間に、ほとんど違いは見られません。

##### 2 年齢

	アンケート回答者		本町全体	
	人数	割合	人数	割合
10歳代	4	0.7%	114	1.4%
20歳代	31	5.1%	551	6.7%
30歳代	33	5.4%	623	7.6%
40歳代	65	10.7%	811	9.9%
50歳代	85	14.0%	1,199	14.6%
60歳代以上	381	62.8%	4,897	59.8%
無回答	8	1.3%		
合計	607	100.0%	8,195	100.0%

年齢層の比率についても、おおむね同程度の割合になっています。

### 3 地区

	アンケート回答者		本町全体	
	人数	割合	人数	割合
久万	392	64.6%	5,312	64.9%
面河	33	5.4%	560	6.8%
美川	108	17.8%	1,510	18.4%
柳谷	61	10.0%	813	9.9%
無回答	13	2.1%		
合計	607	100.0%	8,195	100.0%

居住地区についても、アンケート回答者と本町全体の割合との間に、ほとんど違いは見られません。

これらのことより、アンケート回答者と母集団との間に隔たりはなく、本アンケートの結果は、本町の縮図ともいふべきものであるといえます。